

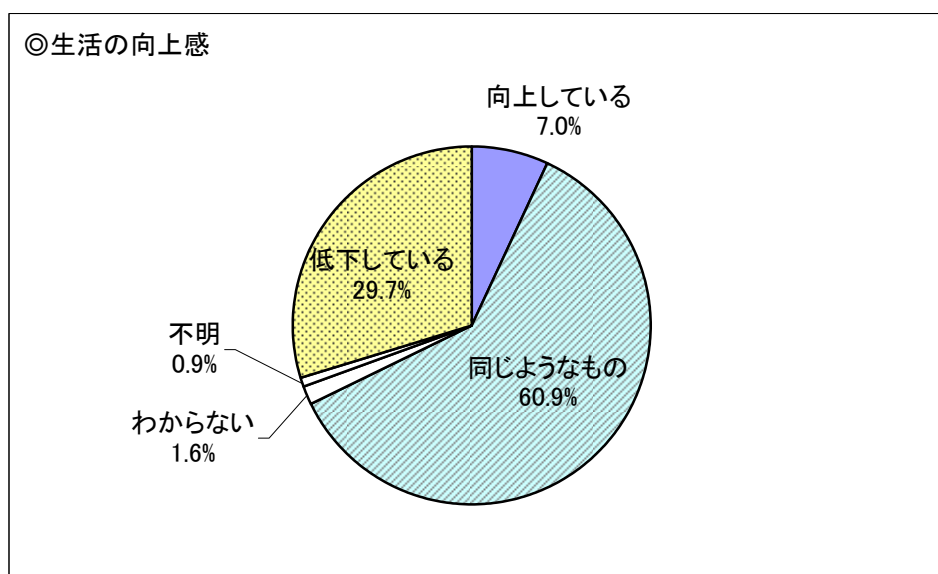
8.暮らし向きに対する意識

(1)生活の向上感

問13 あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きします。あなたの生活は去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号に○印をつけてください。

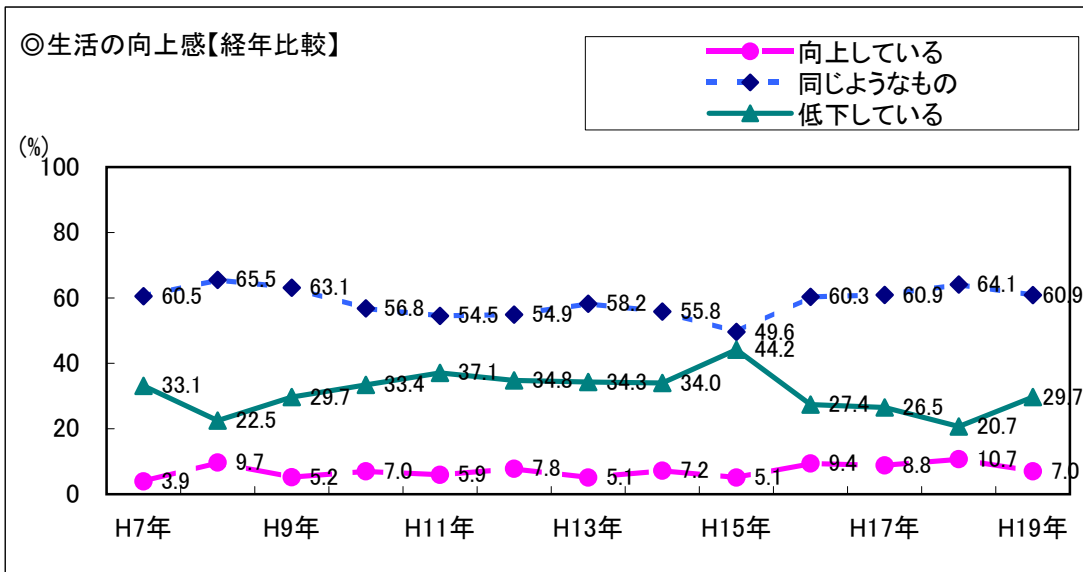
- 1 向上している
- 2 同じようなもの
- 3 低下している
- 4 わからない

○「同じようなもの」(60.9%)が6割と最も多く、「低下している」(29.7%)が約3割、「向上している」(7.0%)は1割を下回る。



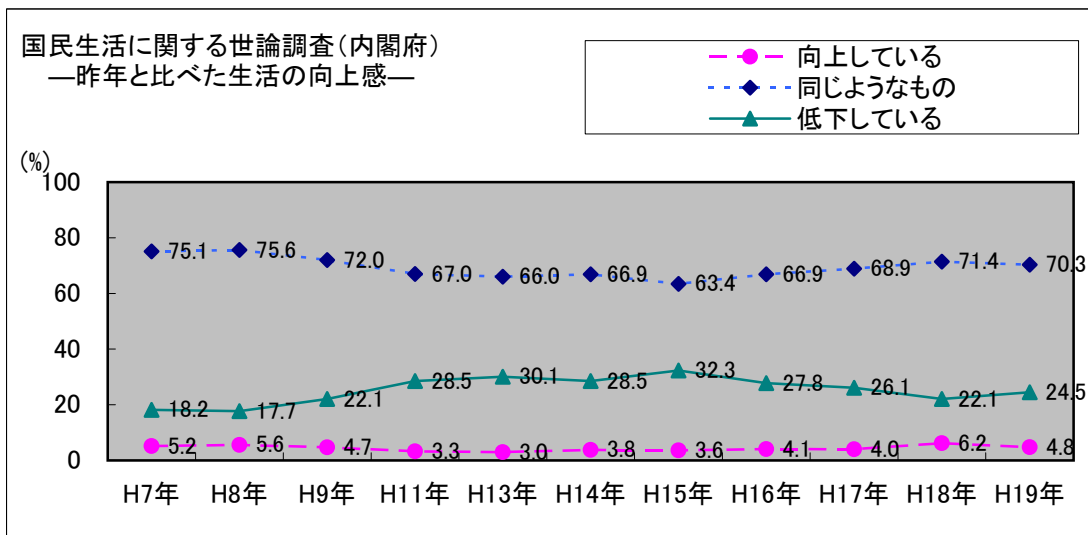
◆経年比較

- 前年度調査と比べると、「同じようなもの」が3.2ポイント、「向上している」が3.7ポイント減少し、「低下している」が9.0ポイント増加している。



【参考：平成19年全国調査】

- 内閣府が毎年（平成9～13年は隔年）実施している「国民生活に関する世論調査」では、「同じようなもの」(70.3%)が7割、「低下している」(24.5%)が2割台半ば、「向上している」(4.8%)が1割未満となっている。前年より「同じようなもの」(-1.1ポイント)や「向上している」(-1.4ポイント)が減少し、「低下している」(+2.4ポイント)が増えている傾向は、本県調査結果と同様だが、増減の幅は本県の方が大きい。

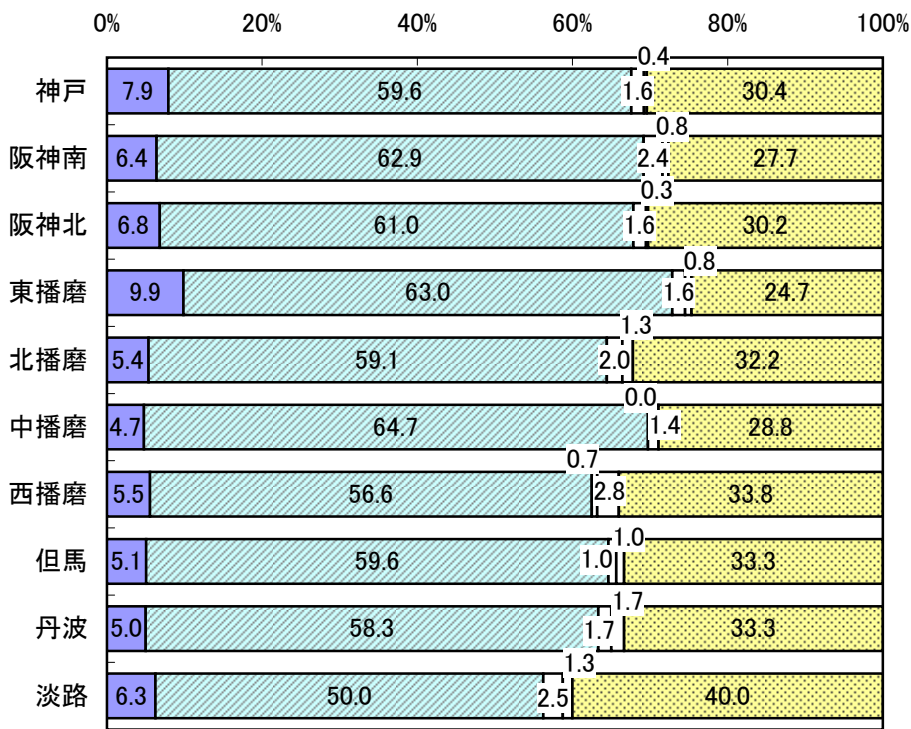


◆地域別

○「向上している」は、最も多い東播磨(9.9%)も含めいずれの地域も1割未満である。「同じようなもの」は、最も多い中播磨(64.7%)では6割台半ばで、6割前後の地域が多いなか、淡路(50.0%)は5割となっている。一方、「低下している」は、淡路(40.0%)で最も多く、最も少ない東播磨(24.7%)とは15.3ポイントの差がある。

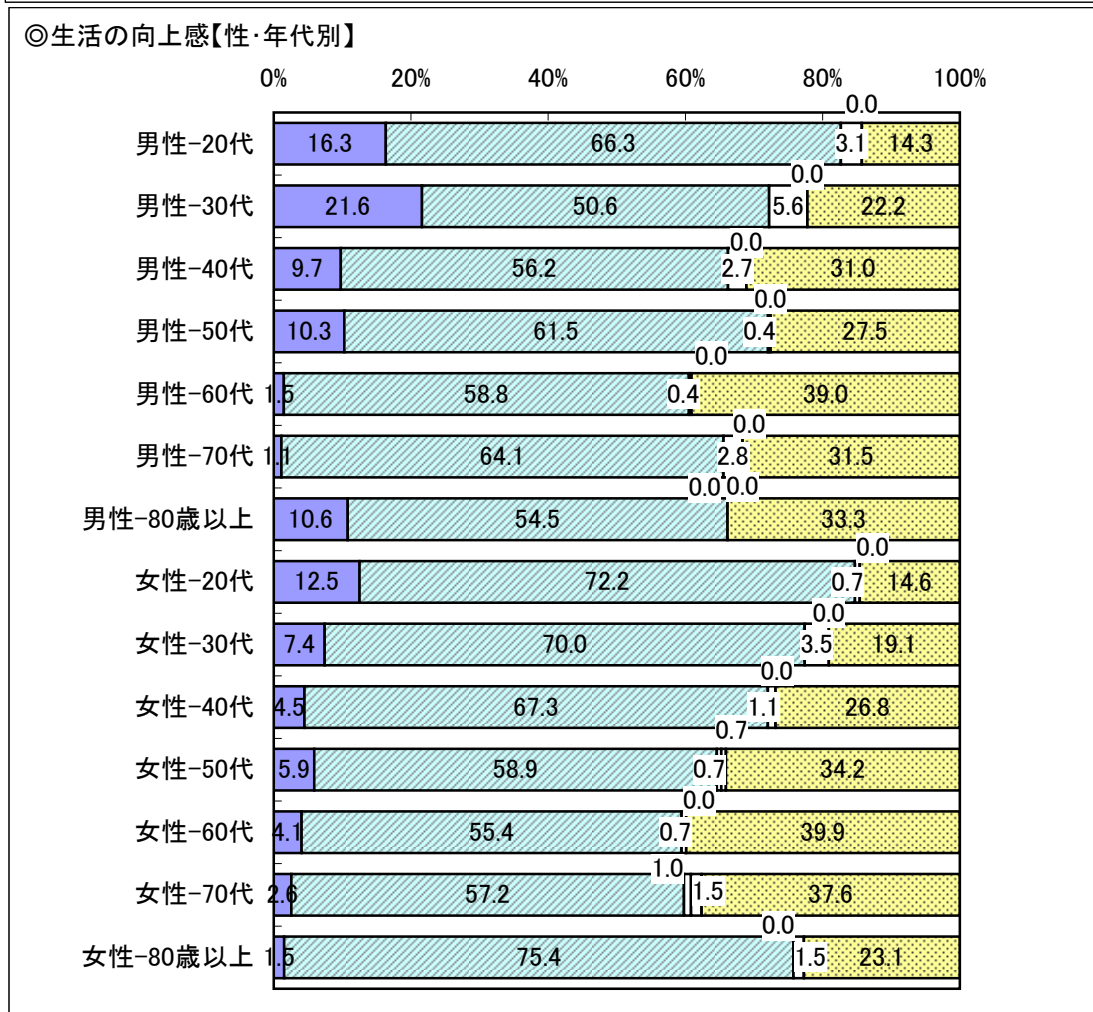
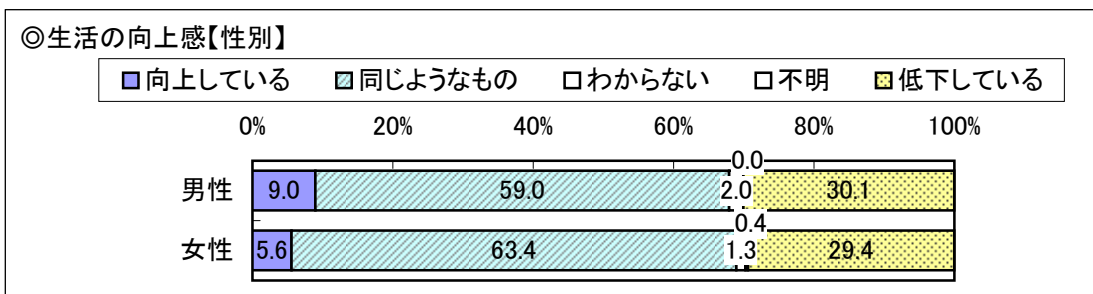
◎生活の向上感【地域別】

■向上している ■同じようなもの □わからない □不明 ■低下している



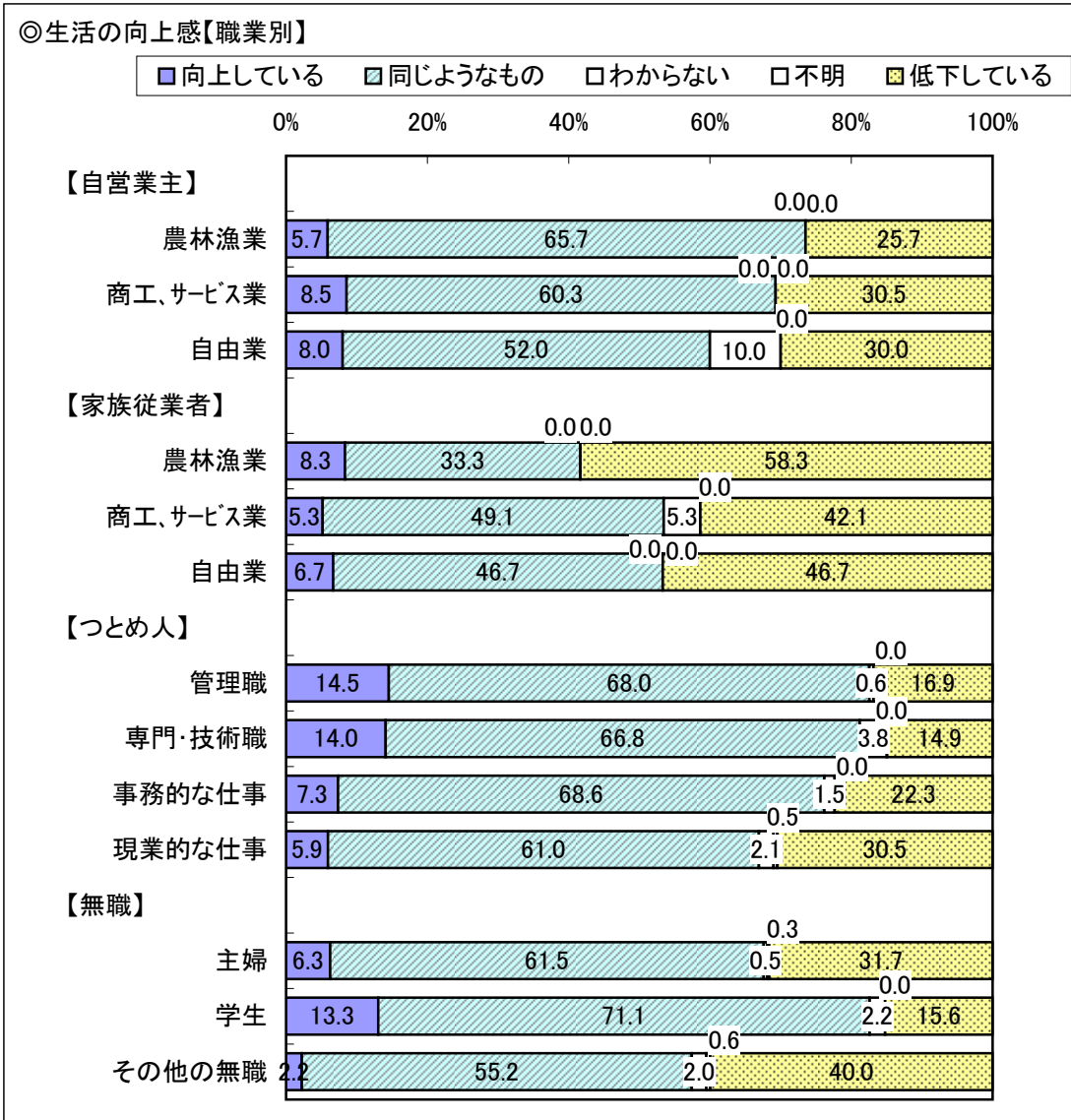
◆性別／性・年代別

- 性別では、特に差はみられない。
- 性・年代別でみると、男性では、「向上している」は、30代(21.6%)と20代(16.3%)で多く、20代では「低下している」(14.3%)を上回っている。一方、「低下している」は、40代以上では概ね3割前後であるが、60代(39.0%)では約4割となっており、この60代と70代では「向上している」がともに1%台と少ない。また、「同じようなもの」は、20代(66.3%)で最も多く、30代(50.6%)で最も少ない。
- 女性では、「向上している」は、年代層が上がるにつれて減少する傾向にあり、最も多い20代(12.5%)と最も少ない80歳以上(1.5%)とでは11.0ポイントの差が生じている。一方、「低下している」は、最も少ない20代(14.6%)から60代(39.9%)、70代(37.6%)をピークに増加する傾向にあり、20代と60代では25.3ポイントの差がある。また、「同じようなもの」は、20代(72.2%)から60代(55.4%)、70代(57.2%)にかけて、年代層が上がるにつれて減少する傾向にあるが、80歳以上(75.4%)では20代を上回って最も多くなっている。

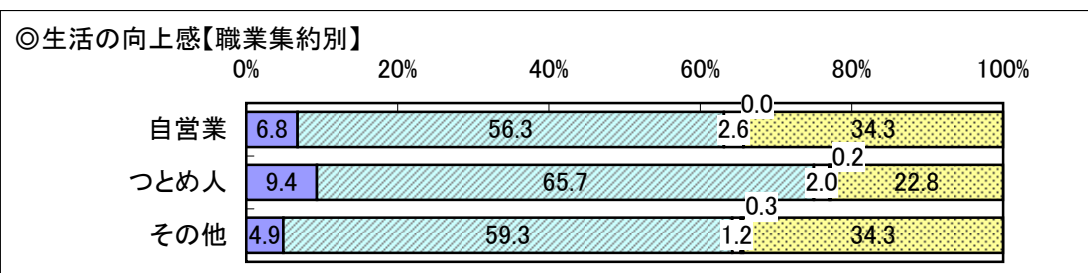


◆職業別

- 職業別でみると、「向上している」は、1割未満が多いが、「管理職」(14.5%)や「専門・技術職」(14.0%)、「学生」(13.3%)では1割を超えている。
 一方、「低下している」は、「農林漁業(家族従事者)」(58.3%)で半数を超え、「自由業(家族従事者)」(46.7%)、「商工、サービス業(家族従事者)」(42.1%)、「その他の無職」(40.0%)で4割台であるが、「専門・技術職」(14.9%)や「学生」(15.6%)、「管理職」(16.9%)では1割台である。



- 職業別を『自営業(自営業主と家族従業者)』、『つとめ人』、『その他(主婦、学生、その他の無職)』の3タイプに集約すると、「向上している」や「同じようなもの」は、『つとめ人』(9.4%、65.7%)でやや多く(『自営業』6.8%、56.3%『その他』4.9%、59.3%)、「低下している」は、『自営業』や『その他』(ともに34.3%)で多い(『つとめ人』22.8%)。

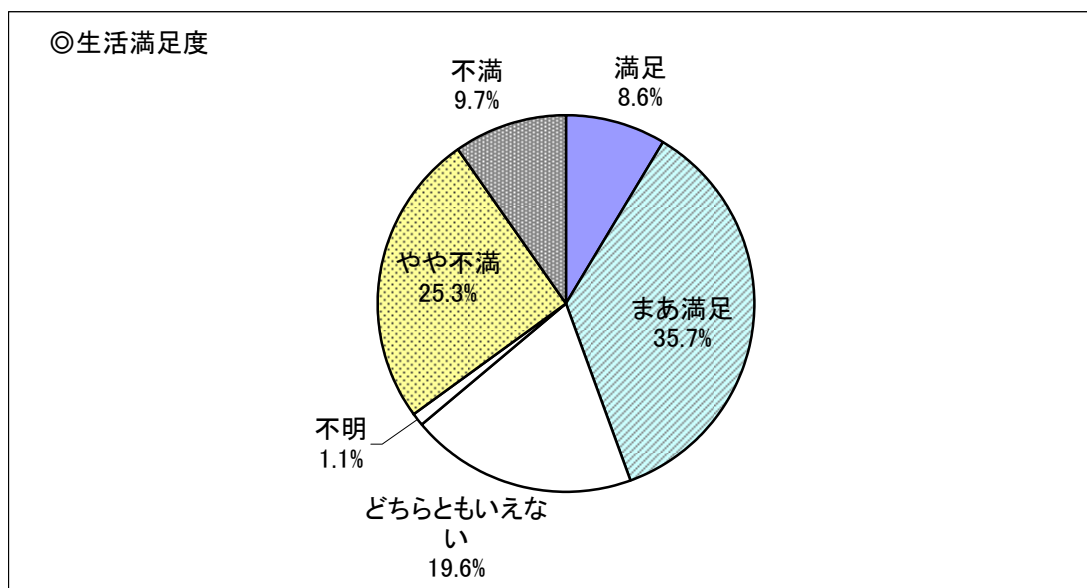


(2) 生活満足度

問14 あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○印をつけてください。

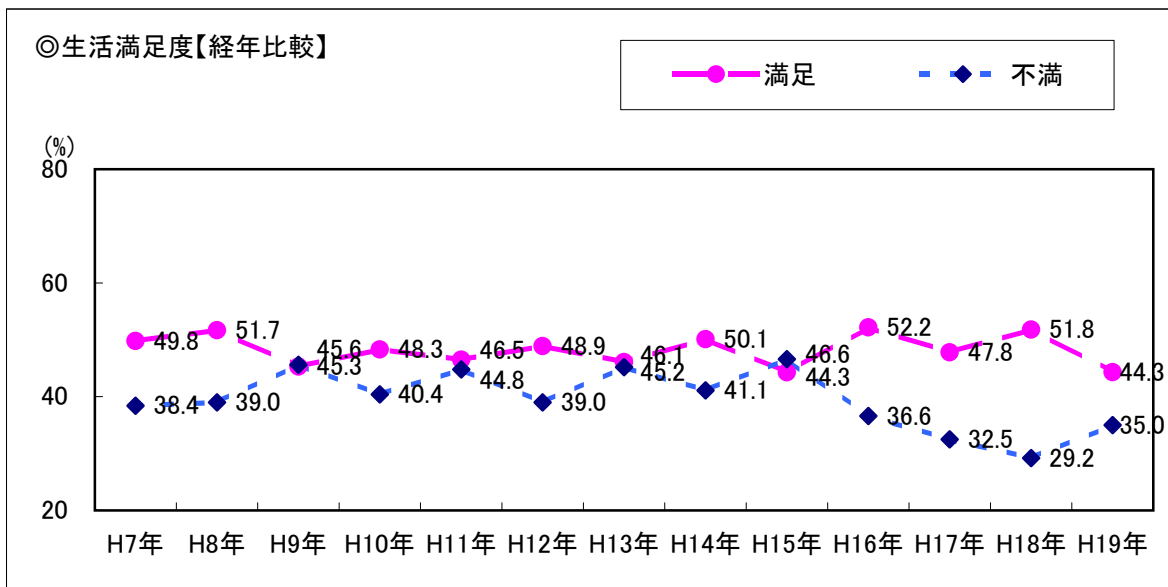
- 1 満足
- 2 まあ満足
- 3 やや不満
- 4 不満
- 5 どちらともいえない

- 生活に対する満足度は、「満足」(8.6%)と「まあ満足」(35.7%)を合わせた『満足』(44.3%)は4割台半ばとなっており、「やや不満」(25.3%)と「不満」(9.7%)を合わせた『不満』(35.0%)を9.3ポイント上回っている。また、「どちらともいえない」(19.6%)が約2割ある。



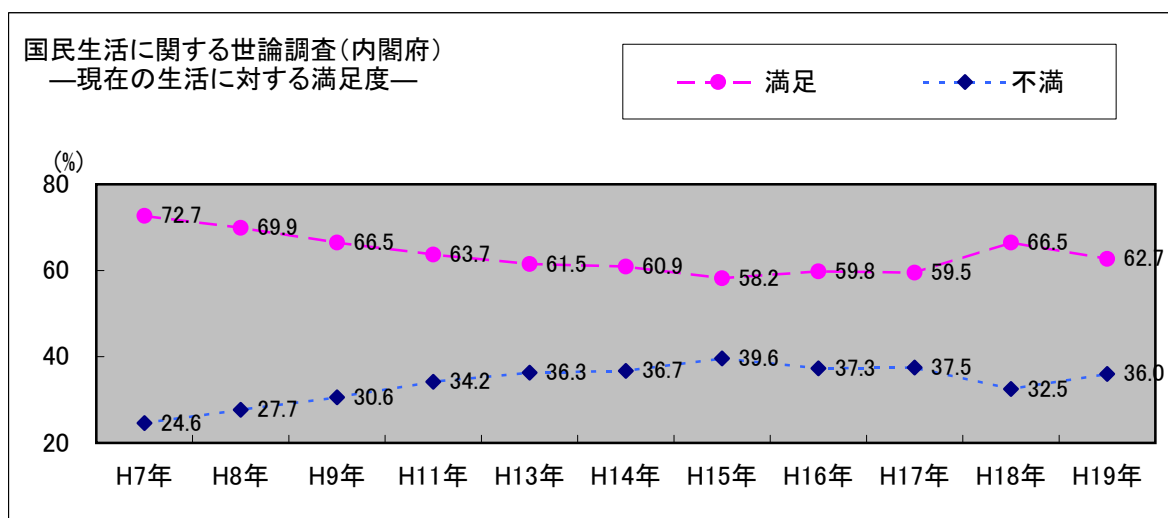
◆経年比較

- 前年度調査と比べると、『満足』は7.5ポイント減少(51.8%→44.3%)し、過去最低だった平成15年に並んだ。一方、『不満』は平成16年から3年連続減少(46.6%→36.6%→32.5%→29.2%)していたが、5.8ポイントの増加(29.2%→35.0%)に転じ、平成16年に近い水準に戻っている。



【参考：平成19年全国調査】

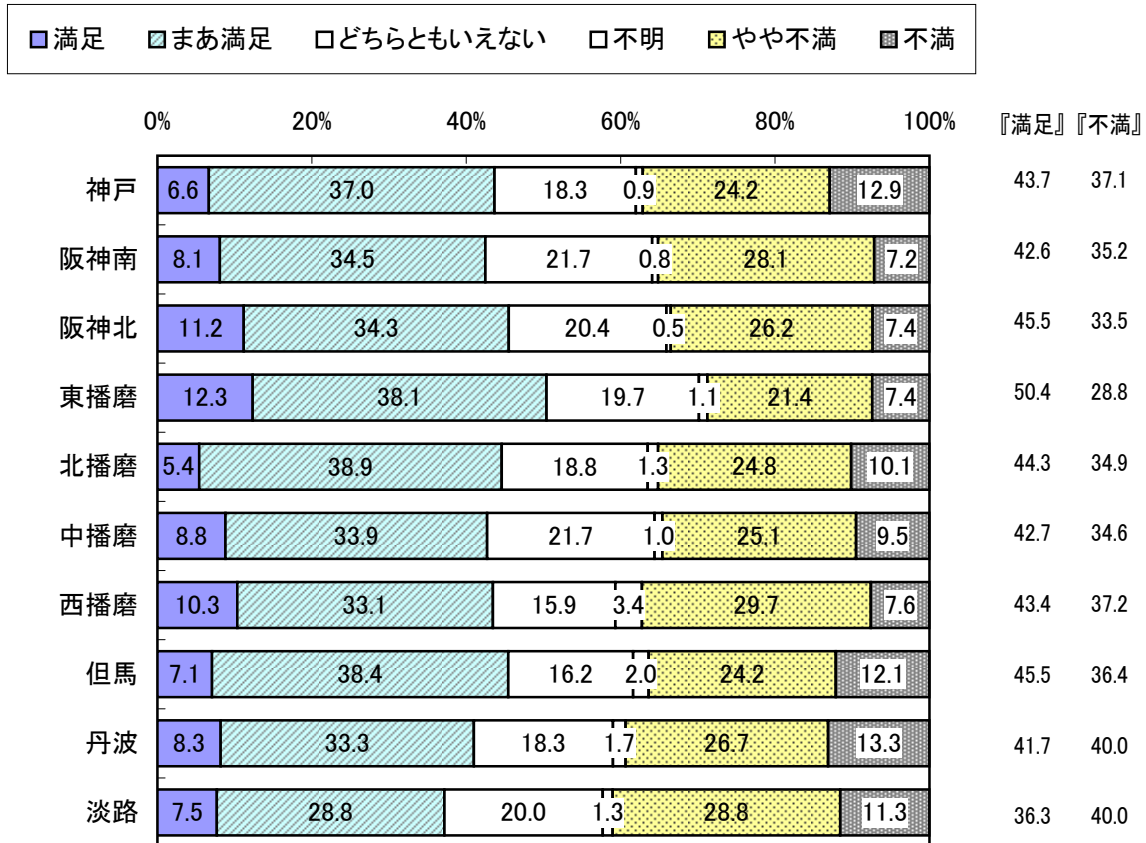
- 内閣府が毎年(平成9～13年は隔年)実施している「国民生活に関する世論調査」では、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足』が、66.5%(18年)から62.7%(19年)に減少し、一方、「やや不満だ」と「不満だ」を合わせた『不満』は32.5%(18年)から36.0%(19年)に増加しており、本県調査と同様に『満足』が減少し、『不満』が増加する傾向にある。



◆地域別

- 『満足』は、最も多い東播磨(50.4%)で5割を超え、他の地域では概ね4割台であるが、淡路(36.3%)では3割台にとどまり、14.1ポイントの差が生じている。
- 一方、『不満』は、最も少ない東播磨(28.8%)では3割を下回り、3割台の地域が多いなか、淡路(40.0%)と丹波(40.0%)で4割であり、淡路では『不満』が『満足』(36.3%)を上回っている。

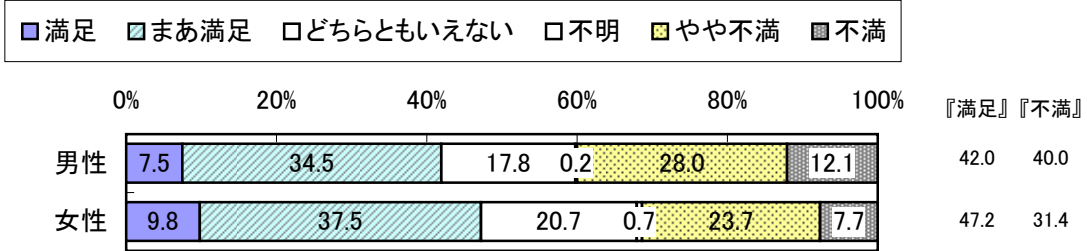
◎生活満足度【地域別】



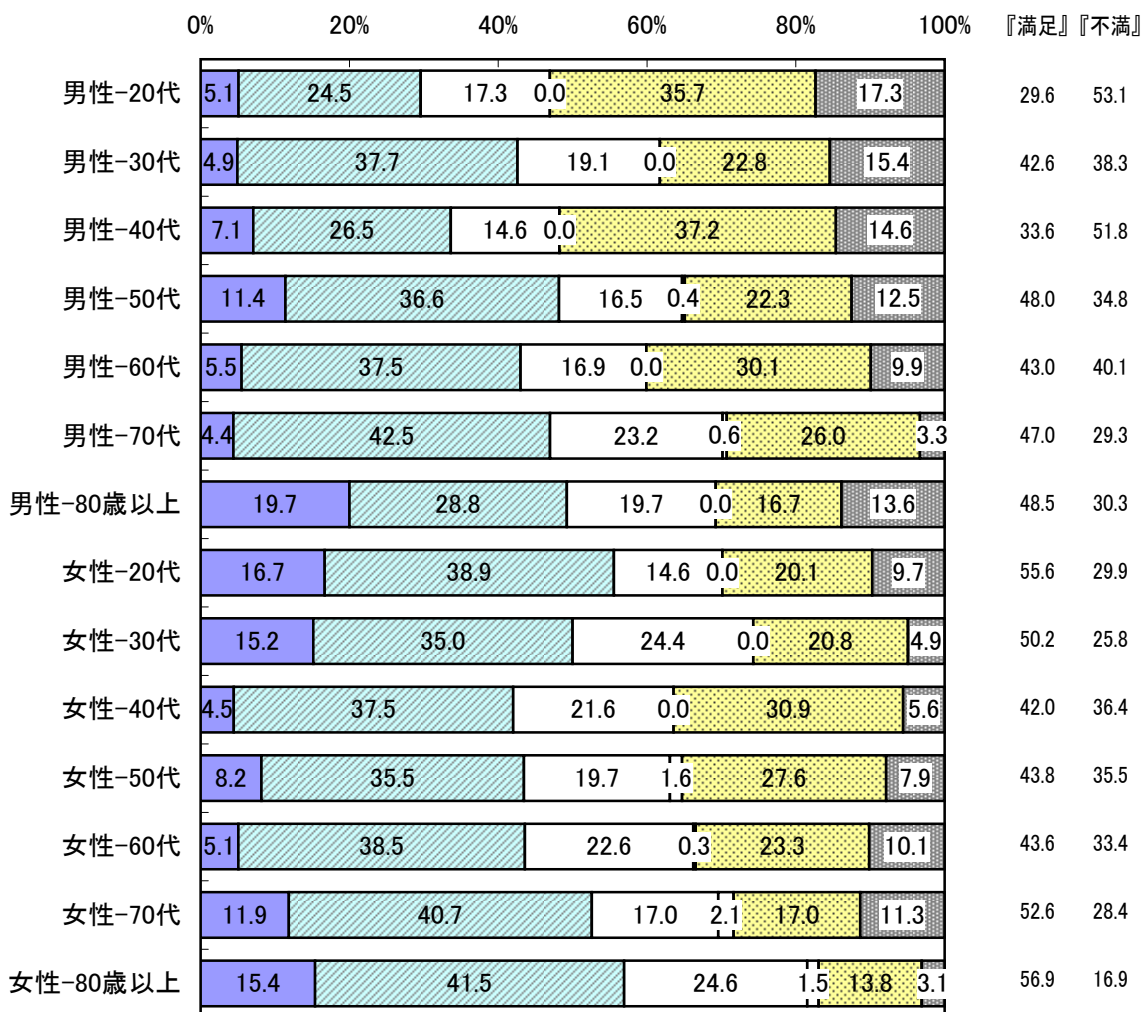
◆性別／性・年代別

- 性別では、『満足』は、男性(42.0%)より女性(47.2%)でやや多く、『不満』は女性(31.4%)より男性(40.0%)で多くなっている。
- 性・年代別で見ると、『満足』は、男女とも80歳以上(男 48.5%、女 56.9%)で最も多く、このほか、女性の20代(55.6%)、30代(50.2%)、70代(52.6%)で5割台である。他の年代層は概ね4割台であるが、男性の40代(33.6%)と20代(29.6%)では3割前後である。
一方、『不満』は、男性では20代(53.1%)と40代(51.8%)で5割を超えており、最も少ない70代(29.3%)でも約3割である。女性では、40代から60代で3割台半ば(33.4%～36.4%)であるが、他の年代層では3割を下回り、80歳以上(16.9%)では1割台である。

◎生活満足度【性別】



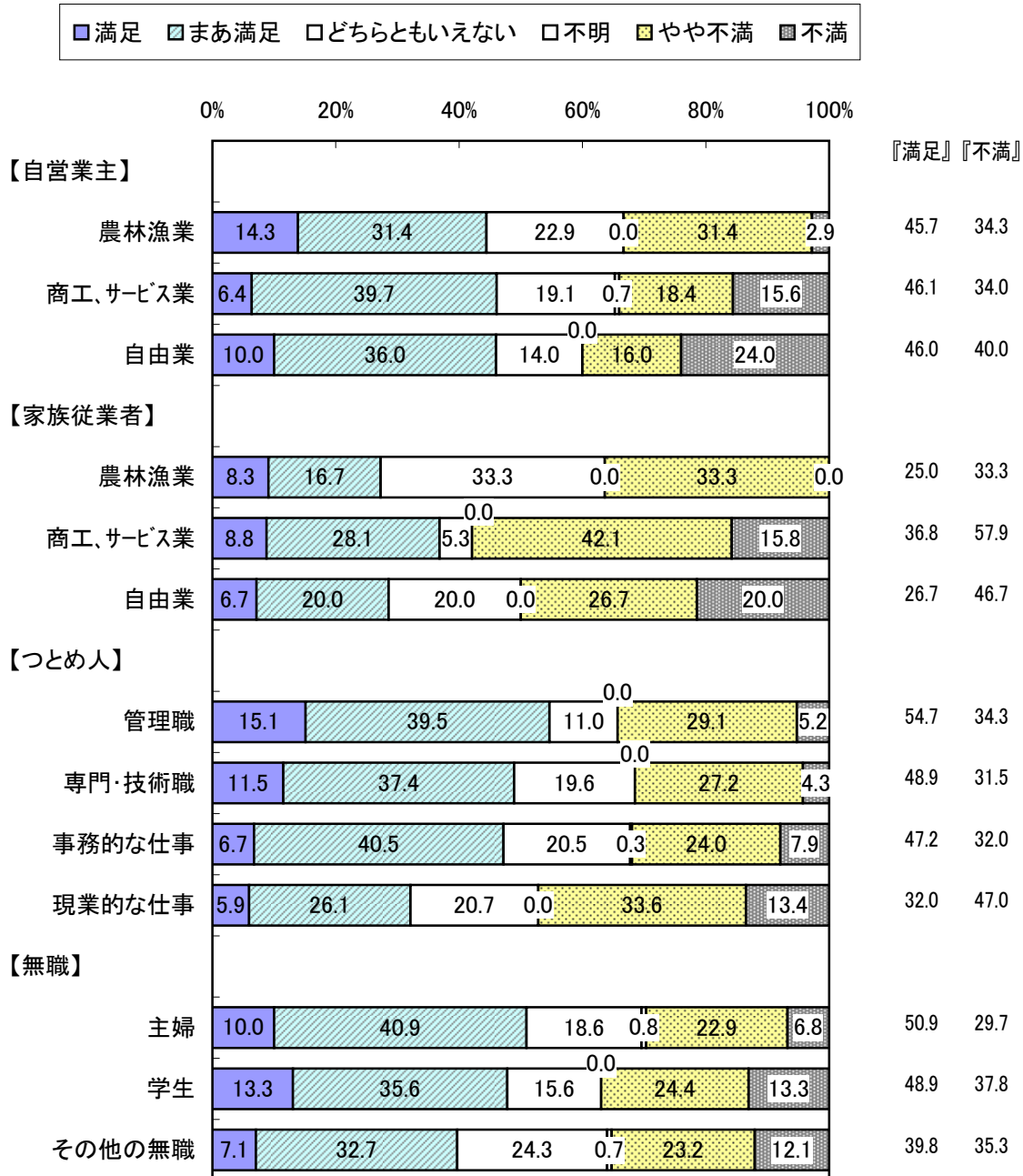
◎生活満足度【性・年代別】



◆職業別

- 職業別でみると、『満足』は、「管理職」(54.7%)や「主婦」(50.9%)で5割を超え、各種「自営業主」や「専門・技術職」、「事務的な仕事」、「学生」では4割台であるが、「農林漁業(家族従事者)」(25.0%)や「自由業(家族従事者)」(26.7%)では2割台である。
一方、『不満』は、「商工、サービス業(家族従事者)」(57.9%)で5割を超え、「自由業(自営業主)」「自由業(家族従事者)」「現業的な仕事」では4割台であり、「主婦」(29.7%)で最も少なくなっている。

◎生活満足度【職業別】



9. 震災に対する意識

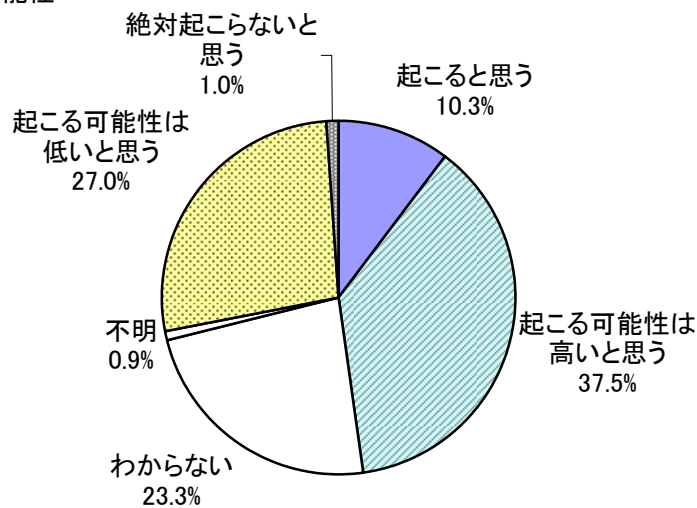
(1) 大震災発生の可能性

問15 あなたの住んでいる地域で、今後10年くらいの中に大地震が起こると思いますか。次の中から1つ選んで番号に○印をつけてください。

- 1 起こると思う
- 2 起こる可能性は高いと思う
- 3 起こる可能性は低いと思う
- 4 絶対起こらないと思う
- 5 わからない

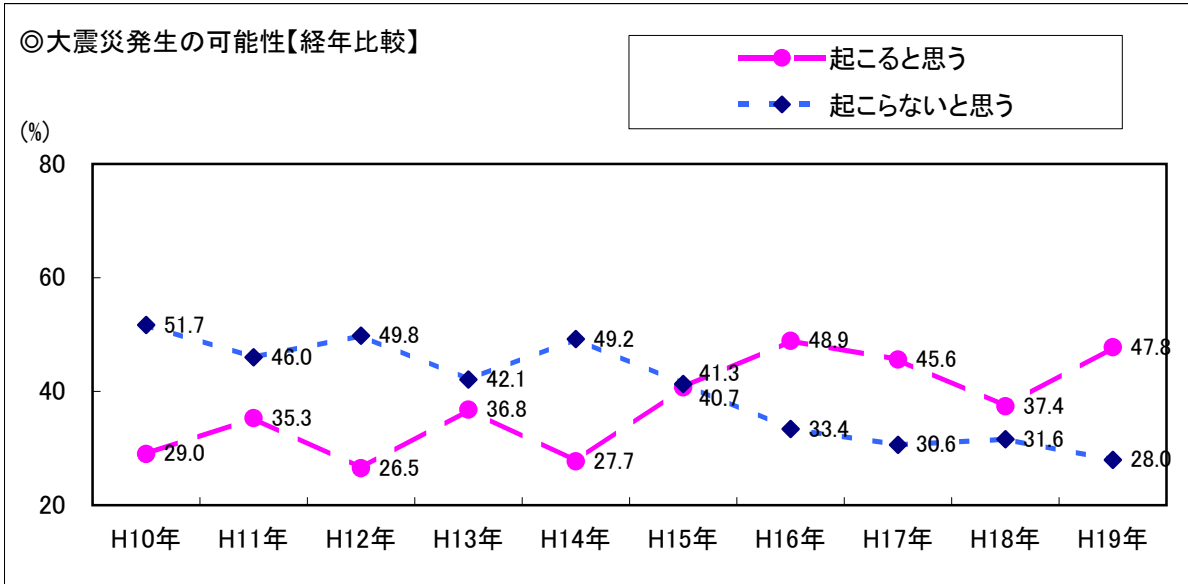
○ 今後10年間で大地震の可能性は、「起こる可能性は高いと思う」(37.5%)が最も多く、「起こると思う」(10.3%)と合わせた『起こると思う』(47.8%)は半数近くとなっている。一方、「起こる可能性は低いと思う」(27.0%)と「絶対起こらないと思う」(1.0%)と合わせた『起こらないと思う』(28.0%)は3割弱となっており、『起こると思う』が『起こらないと思う』を約20ポイント上回っている。

◎大震災発生の可能性



◆経年比較

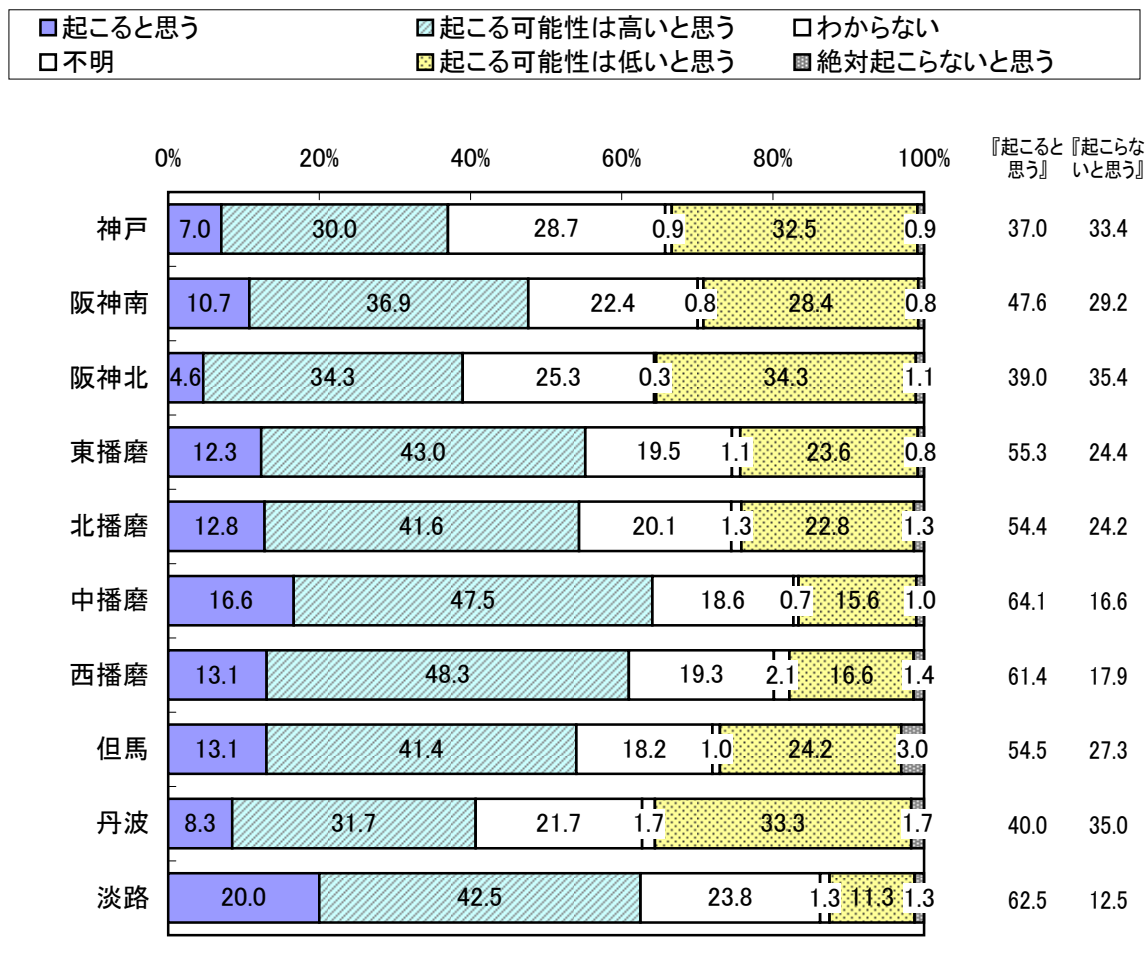
- 『起こると思う』(47.8%)は前年(37.4%)より10.4ポイント増加し、過去最高である平成16年(48.9%)に次ぐ水準にある。一方、『起こらないと思う』(28.0%)は前年(31.6%)より3.6ポイント減少し、平成17年(30.6%)を下回り、過去最低となっている。



◆地域別

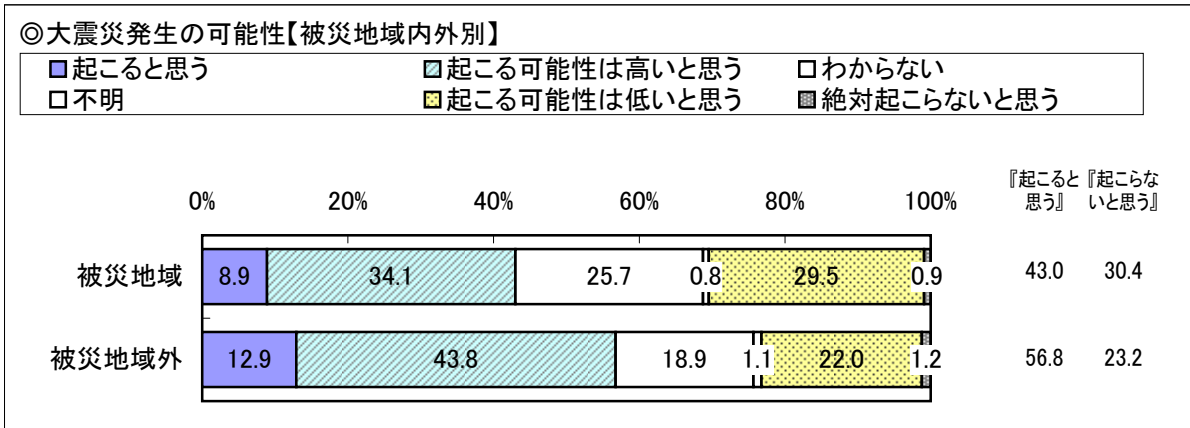
- 『起こると思う』では、中播磨(64.1%)、淡路(62.5%)、西播磨(61.4%)で6割を超えるが、神戸(37.0%)、阪神北(39.0%)、丹波(40.0%)では4割程度と、地域間で27.1ポイントの差がある。一方、『起こらないと思う』では、阪神北(35.4%)、丹波(35.0%)、神戸(33.4%)で3割を超えるが、淡路(12.5%)、中播磨(16.6%)、西播磨(17.9%)では1割台にとどまり、阪神北と淡路で22.9ポイントの差がある。また、「わからない」は、神戸(28.7%)で3割近く、他の地域でも概ね2割程度(18.2%~25.3%)生じている。

◎大震災発生の可能性【地域別】



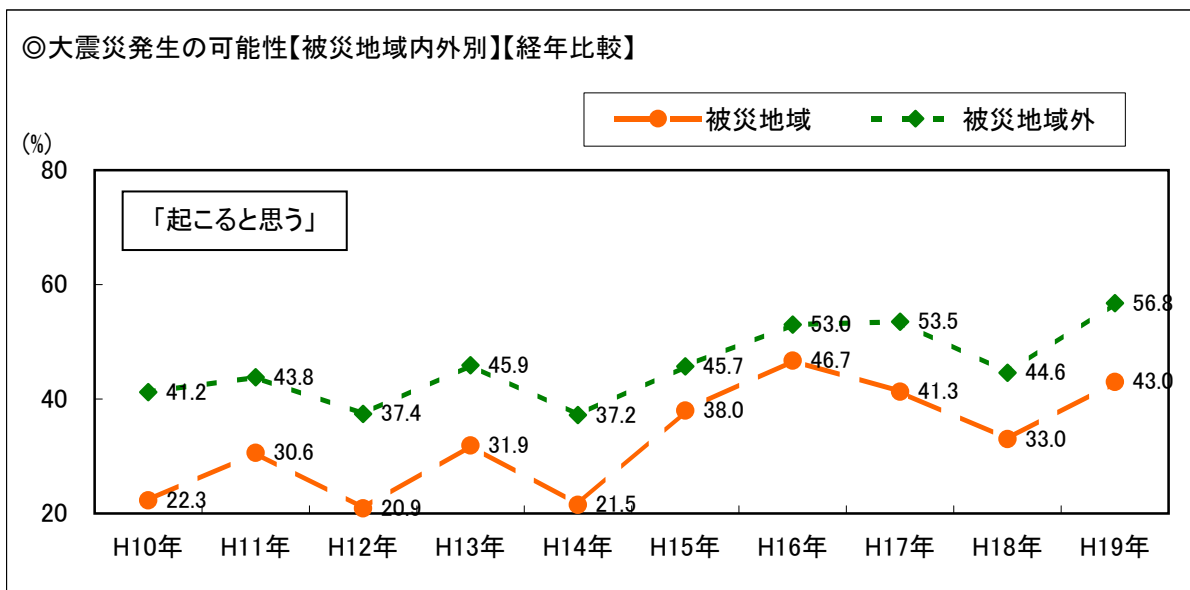
◆被災地域・被災地域外別

- 『起こると思う』は、被災地域外(56.8%)の方が被災地域(43.0%)より13.8ポイント上回っている。被災地域では、『起こらないと思う』(30.4%)や「わからない」(25.7%)が被災地域外(前者23.2%、後者18.9%)よりも多い。



◆被災地域・被災地域外別(経年比較)

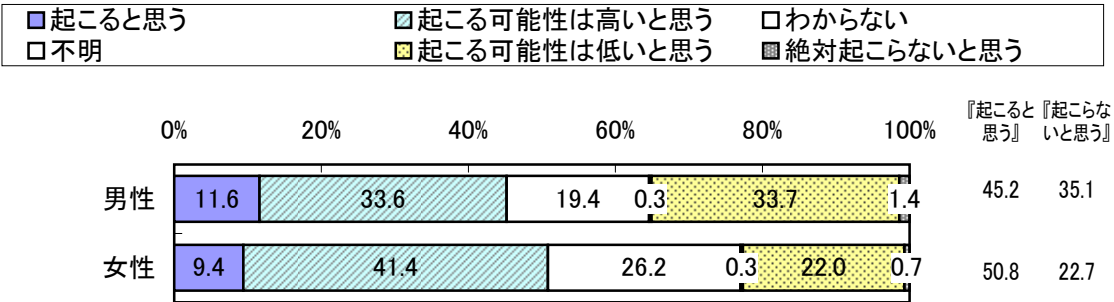
- 『起こると思う』は、被災地域(43.0%)、被災地域外(56.8%)ともに前年(33.0%、44.6%)より増加しており、被災地域外では過去最高である平成17年(53.5%)を上回っている。



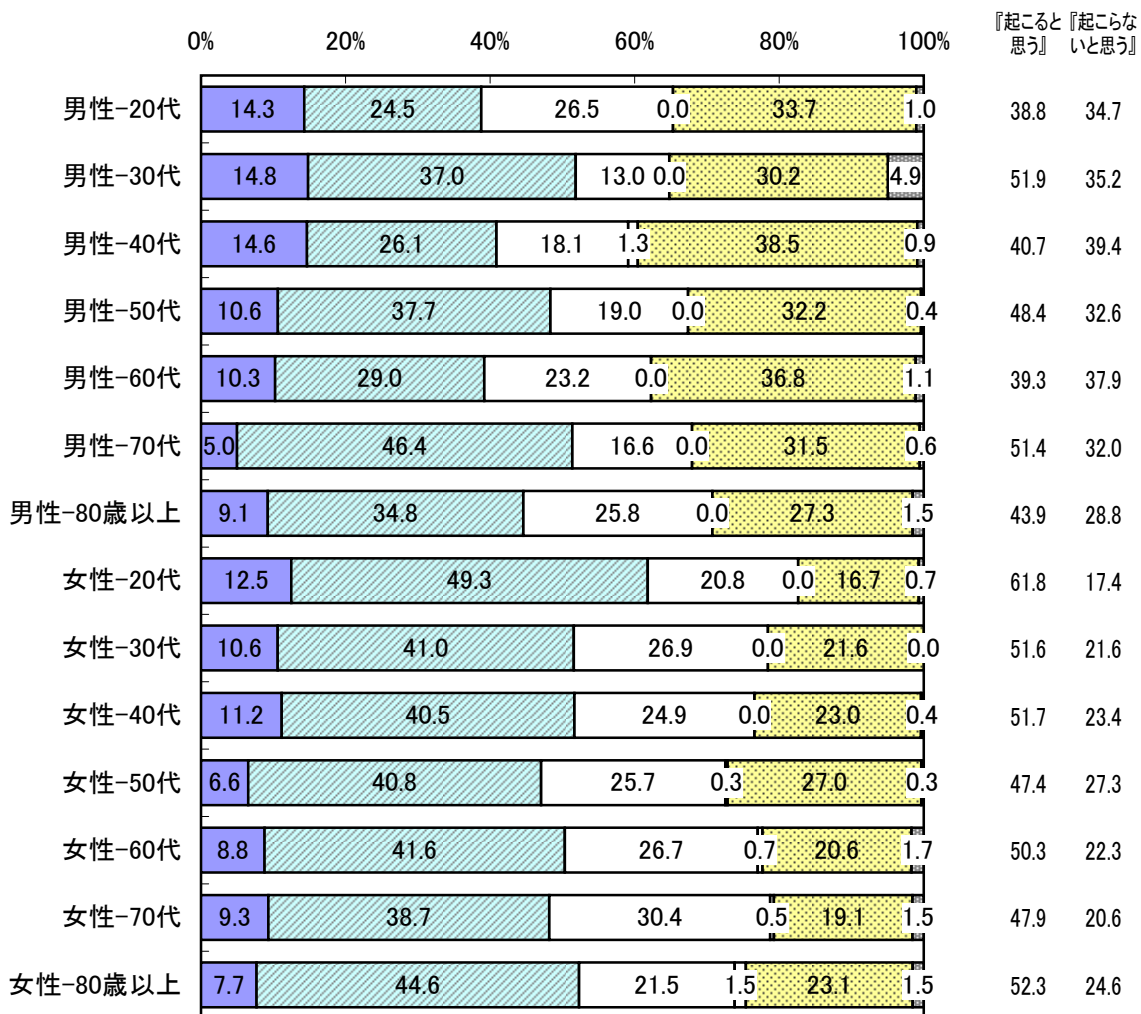
◆性別／性・年代別

- 性別では、『起こると思う』は男性(45.2%)より女性(50.8%)でやや多く、「わからない」も男性(19.4%)より女性(26.2%)でやや多い。『起こらないと思う』は、男性(35.1%)が女性(22.7%)を12.4ポイント上回る。
- 性・年代別で見ると、男性では、『起こると思う』は30代(51.9%)と70代(51.4%)で5割を超えるが、60代(39.3%)では3割台にとどまり、12.5ポイントの差が生じている。一方、女性では、『起こると思う』は20代(61.8%)で6割を超えるが、50代(47.4%)や70代(47.9%)では4割台にとどまり、14.4ポイントの差が生じている。

◎大震災発生の可能性【性別】



◎大震災発生の可能性【性・年代別】



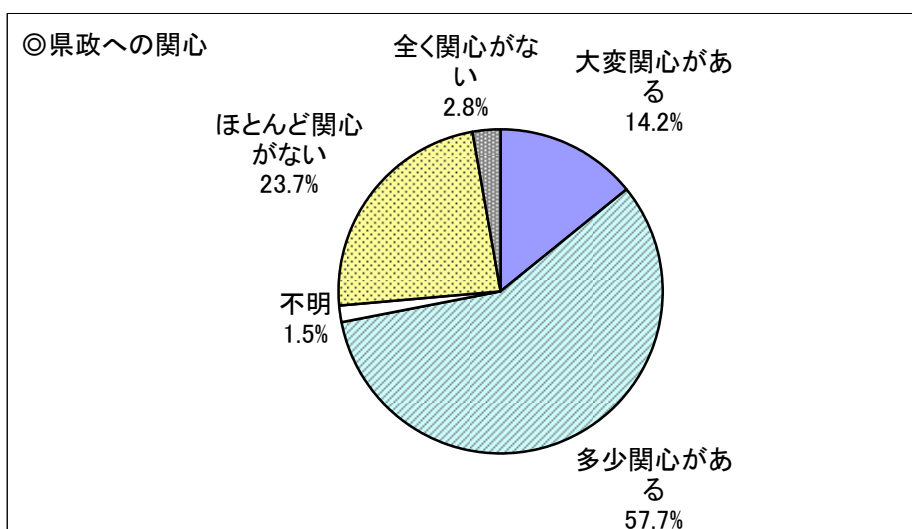
10. 県政への意識

(1) 県政への関心

問16 あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

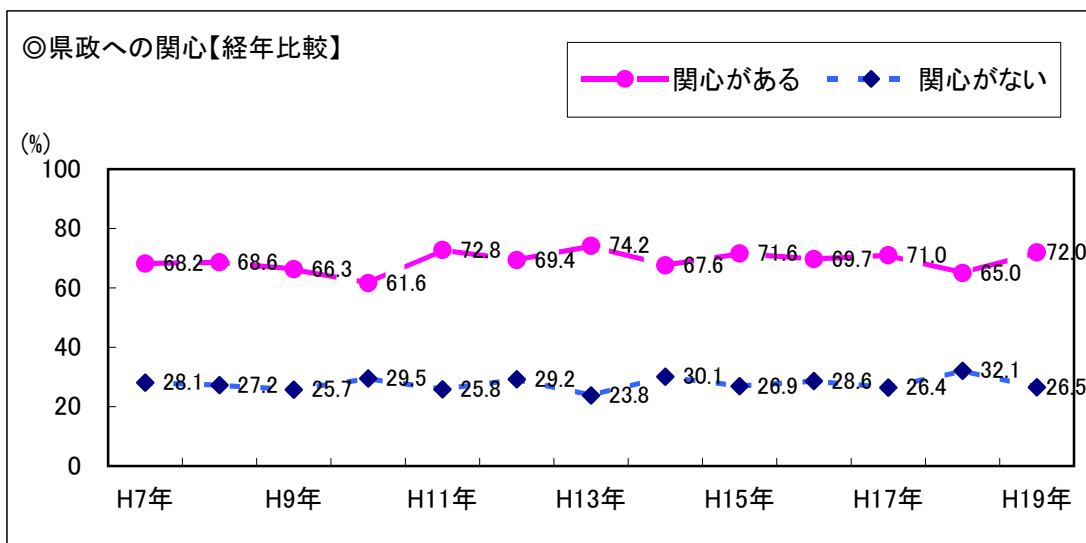
- 1 大変関心がある
- 2 多少関心がある
- 3 ほとんど関心がない
- 4 全く関心がない

○「大変関心がある」(14.2%)と「多少関心がある」(57.7%)を足し合わせた『関心がある』(72.0%)は7割強で、「ほとんど関心がない」(23.7%)と「全く関心がない」(2.8%)を足し合わせた『関心がない』(26.5%)は2割台半ばとなっており、『関心がある』が『関心がない』を45.4ポイント上回っている。



◆経年比較

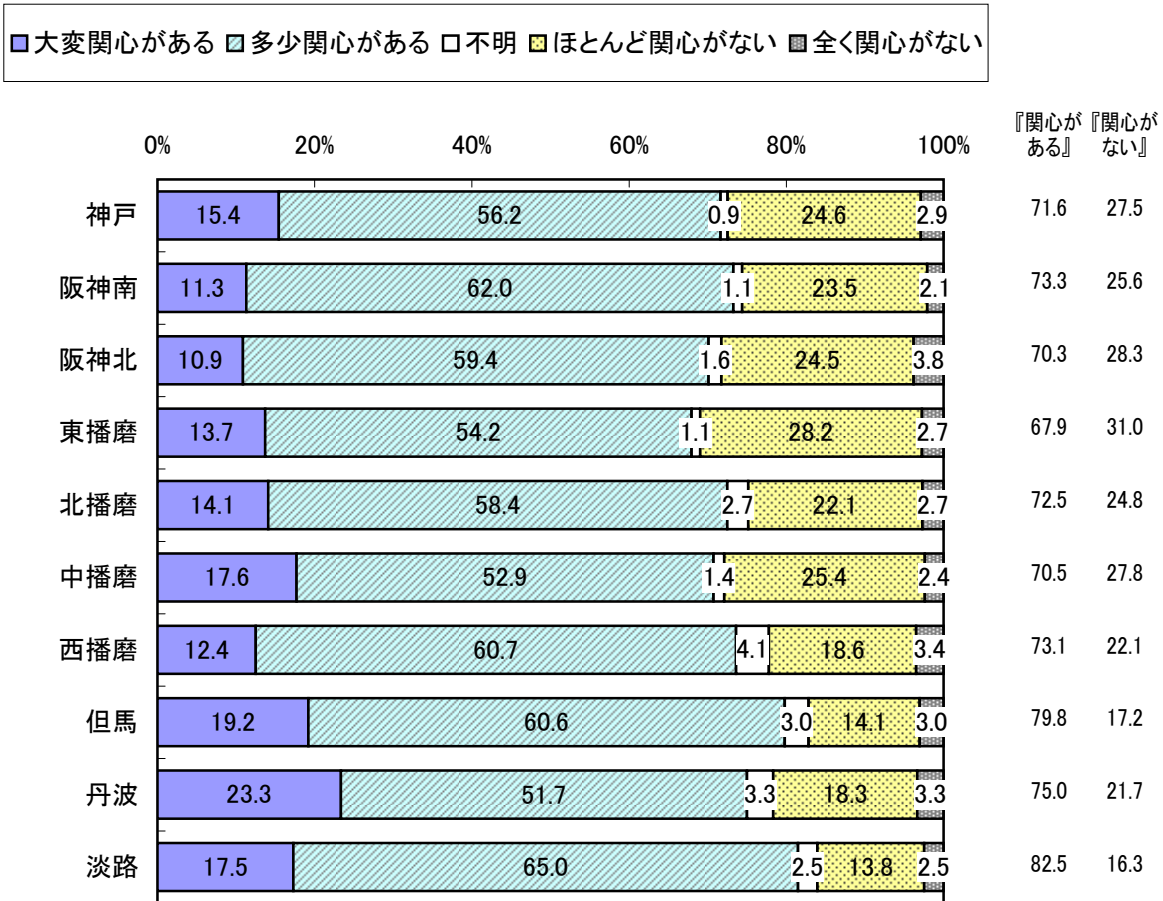
○『関心がある』(72.0%)は前年(65.0%)より7ポイント増加しており、『関心がない』(26.5%)は前年(32.1%)より5.6ポイント減少している。



◆地域別

- 『関心がある』は、淡路(82.5%)と但馬(79.8%)で8割前後、他の地域では概ね7割台であるが、東播磨(67.9%)では6割台で、14.6ポイントの差が生じている。
 一方、『関心がない』は、東播磨(31.0%)や阪神北(28.3%)、中播磨(27.8%)、神戸(27.5%)で3割前後であるが、淡路(16.3%)や但馬(17.2%)では1割台で、こちらも14.7ポイントの差が生じている。

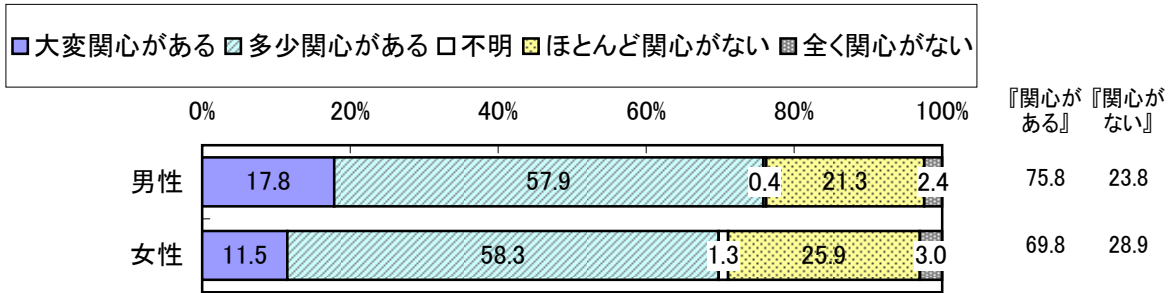
◎県政への関心【地域別】



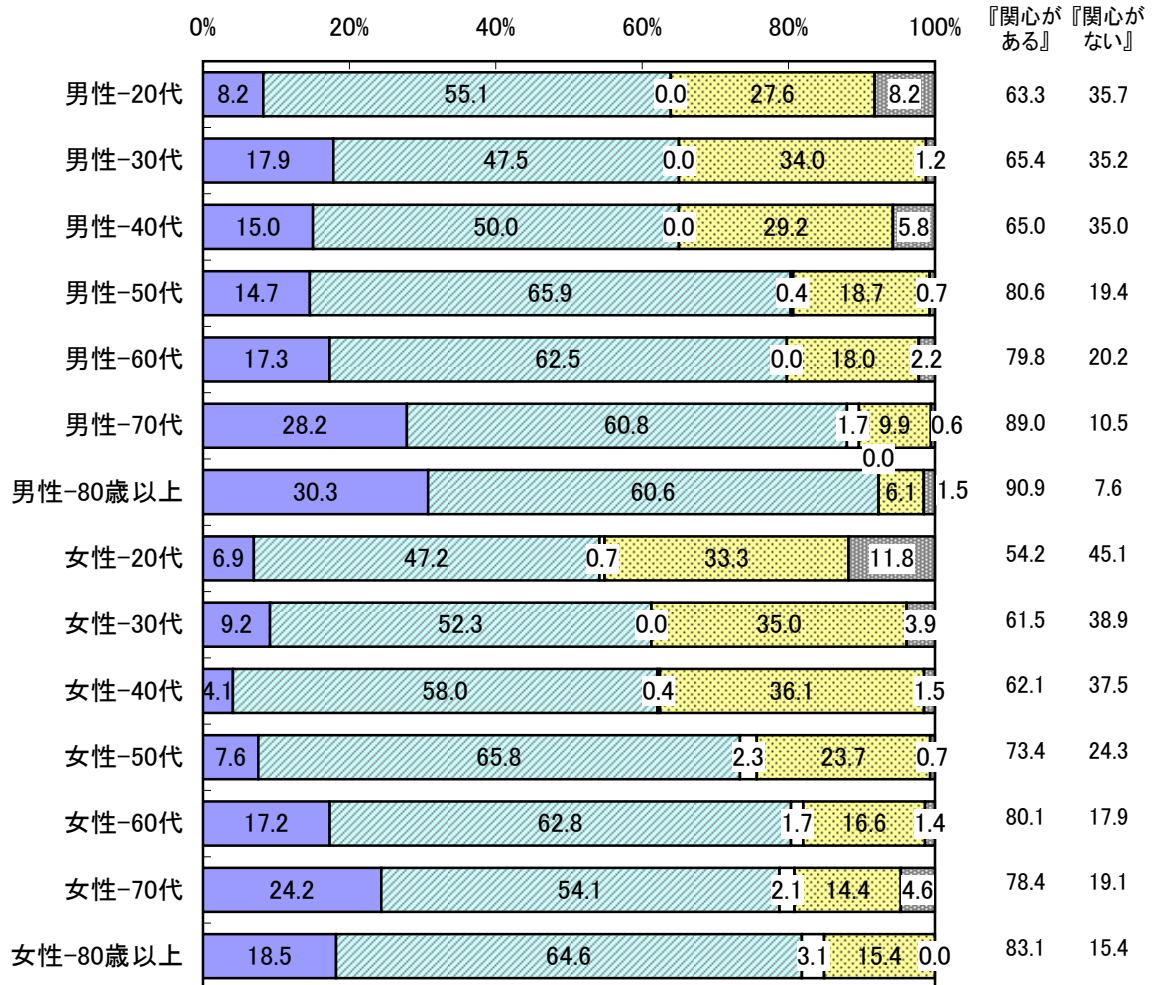
◆性別／性・年代別

- 性別では、『関心がある』は、女性(69.8%)より男性(75.8%)の方がやや多い。
- 性・年代別をみると、男女ともに『関心がある』は、年齢層が上がるにつれて多くなる傾向にあり、女性では、最も少ない20代(54.2%)と最も多い80歳以上(83.1%)では28.9ポイントの差が生じており、男性でも同様に20代(63.3%)と80歳以上(90.9%)とでは27.6ポイントの差が生じている。

◎県政への関心【性別】

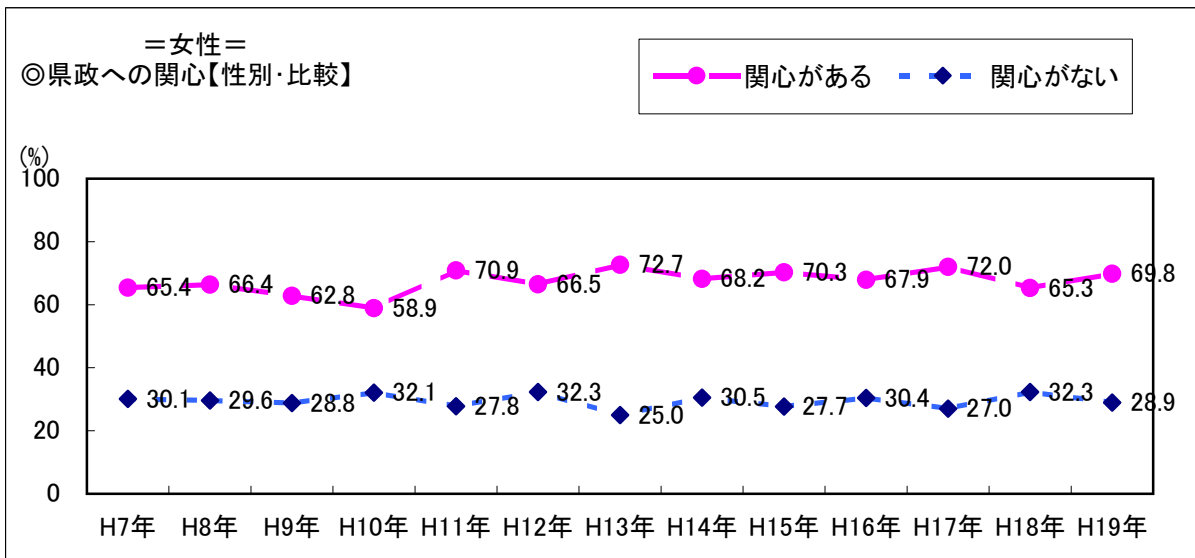
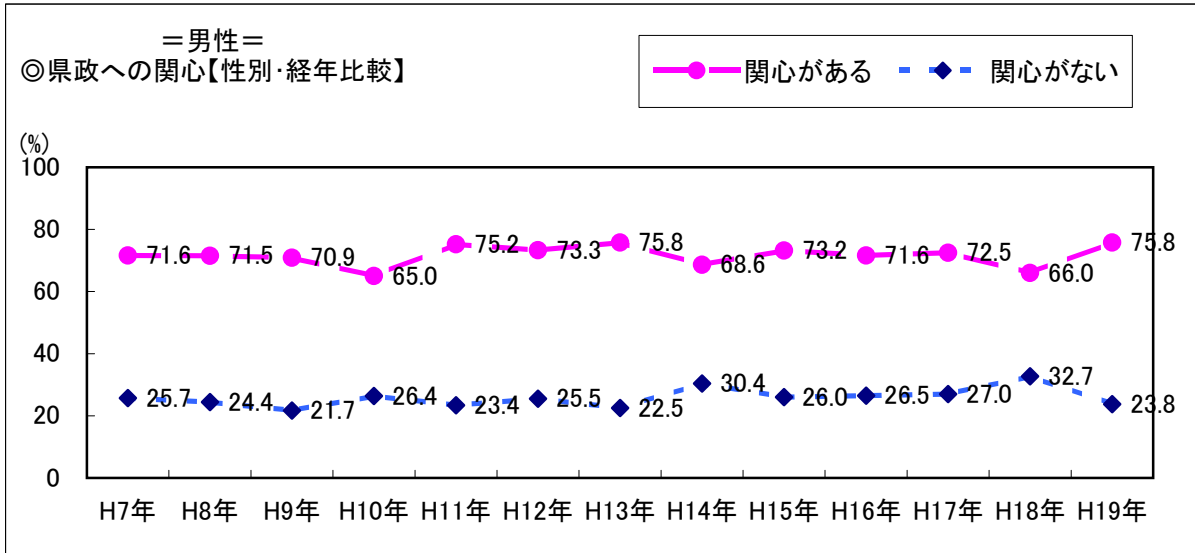


◎県政への関心【性・年代別】



◆性別(経年比較)

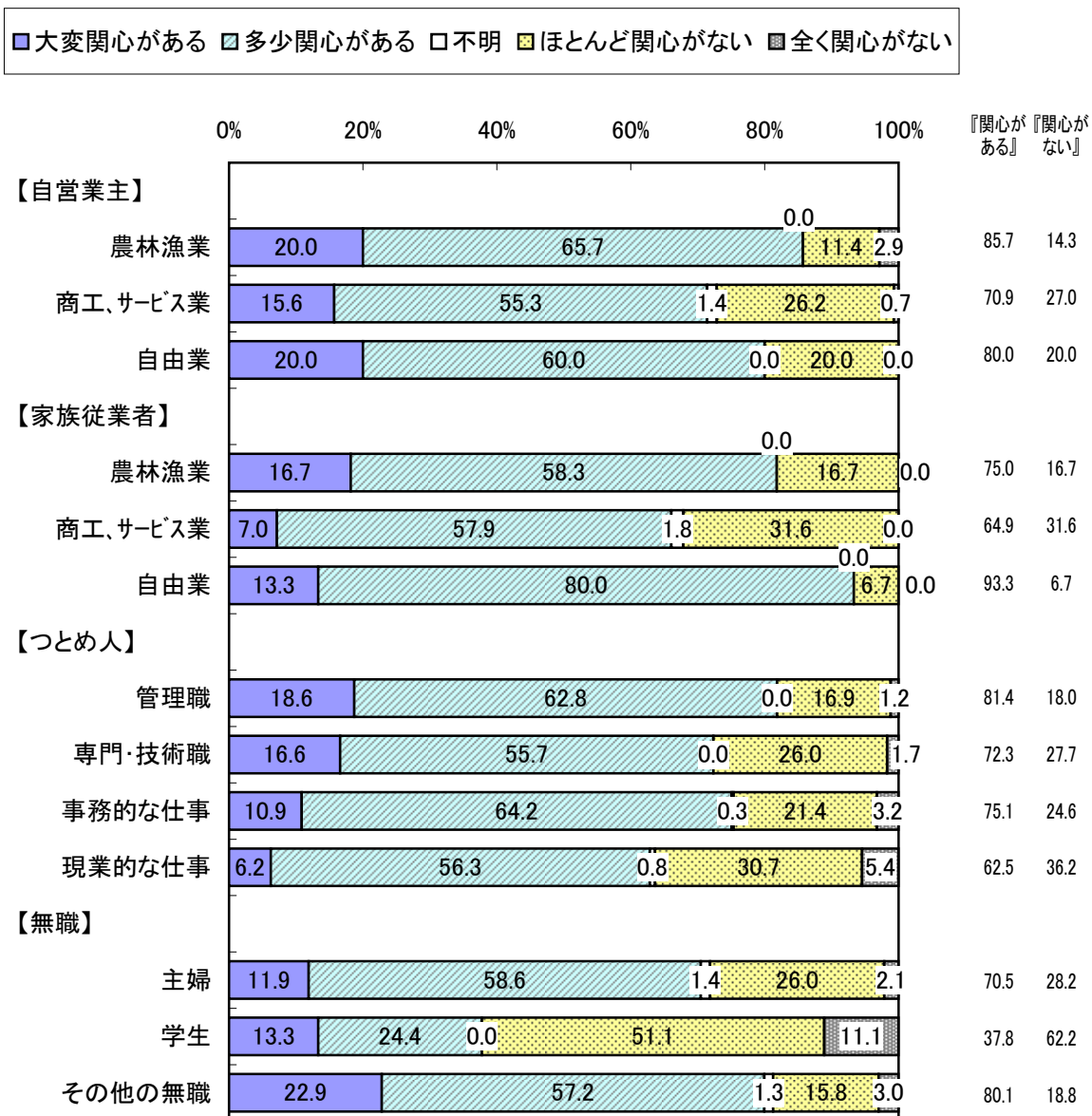
- 性別の経年変化では、男女とも前年よりも『関心がある』が増加(男 66.0%→75.8%、女65.3%→69.8%)し、『関心がない』が減少(男 32.7%→23.8%、女32.3%→28.9%)しているが、男性の方が増減の幅が大きく、『関心がある』では過去最高であった平成13年に並んでいる。



◆職業別

- 職業別でみると、『関心がある』は、「自由業(家族従事者)」(93.3%)で9割を超え、「農林漁業(自営業主)」(85.7%)や「管理職」(81.4%)、「その他無職」(80.1%)、「自由業(自営業主)」(80.0%)で8割台であるが、「商工、サービス業(家族従事者)」(64.9%)や「現業的な仕事」(62.5%)では6割台に、「学生」では3割台と少なくなっている。

◎県政への関心【職業別】



(2) 県政への評価

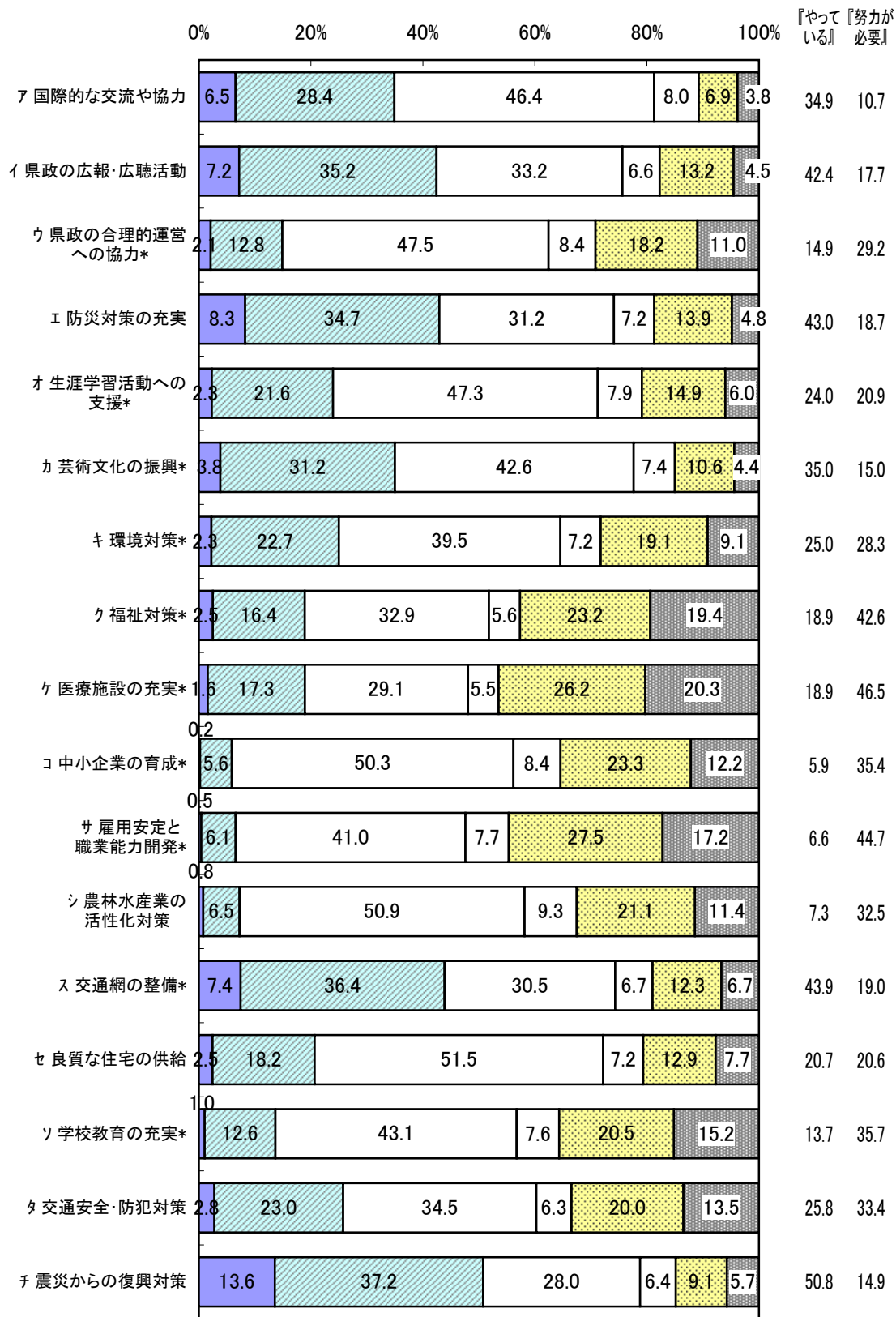
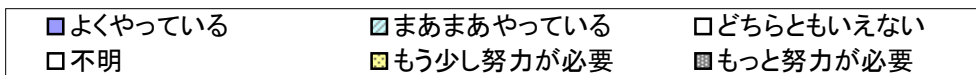
問17 県の行っている仕事をあげています。それぞれについて、あなたのお考えに近いものを1つずつ選んで番号に○印をつけてください。

- (ア)国際的な交流や協力
- (イ)県政の広報・広聴活動
- (ウ)県政の合理的運営(行政改革)への努力
- (エ)防災対策の充実
- (オ)豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援
- (カ)豊かな感性を培う芸術文化の振興
- (キ)自然環境を守り育てる環境対策
- (ク)お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策
- (ケ)病気の予防や病院などの医療施設の充実
- (コ)創造的活力に富む中小企業の育成
- (サ)雇用の安定と職業能力の開発
- (シ)農林水産業の活性化対策
- (ス)道路、鉄道、空港などの交通網の整備
- (セ)良質な住宅の供給
- (ソ)個性と能力を伸ばす学校教育の充実
- (タ)交通安全・防犯対策
- (チ)震災からの復興対策

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 よくやっている | 2 まあまあやっている | 3 どちらともいえない |
| 4 もう少し努力が必要 | 5 もっと努力が必要 | |

- 県政の主要17項目毎に5段階評価の形で聞いた。
- 『やっている』(「よくやっている」と「まあまあやっている」の合計)は、「チ 震災からの復興対策」(50.8%)で5割を超えて最も多く、「ス 交通網の整備」(43.9%)、「エ 防災対策の充実」(43.0%)、「イ 県政の広報・広聴活動」(42.4%)の順で続いている。
- 『努力が必要』(「もう少し努力が必要」と「もっと努力が必要」の合計)は、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(46.5%)で最も多く、「サ 雇用の安定と職業能力の開発」(44.7%)、「ク 福祉対策」(42.6%)、「ソ 学校教育の充実」(35.7%)の順で続いている。
- 全17項目中、9項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。
- 「どちらともいえない」は、「セ 良質な住宅の供給」(51.5%)と「コ 中小企業の育成」(50.3%)で5割を超えており、「チ 震災からの復興対策」(28.0%)や「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(29.1%)では3割を下回っている。

◎県政への評価



◆前年度比較

- 前年との比較では、『やっている』は、「タ 交通安全・防犯対策」や「ス 交通網の整備」で6ポイント以上増加するなど、13項目で増加している。
『努力が必要』は、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」や「シ 農林水産業の活性化対策」で3ポイント程度増加するなど、4項目で増加している。

◎県政への評価【前年度比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
タ 交通安全・防犯対策	6.8
ス 交通網の整備*	6.6
チ 震災からの復興対策	5.5
セ 良質な住宅の供給	5.5
カ 芸術文化の振興*	5.3
エ 防災対策の充実	5.1
ソ 学校教育の充実*	4.6
イ 県政の広報・広聴活動	4.4
オ 生涯学習活動への支援*	3.3
ケ 医療施設の充実*	2.6
ウ 県政の合理的運営*	2.6
ア 国際的な交流や協力	1.7
コ 中小企業の育成*	0.1
ク 福祉対策*	0.0
サ 雇用安定と職業能力開発*	0.0
シ 農林水産業の活性化対策	0.0
キ 環境対策*	-1.8

◎県政への評価【前年度比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
ケ 医療施設の充実*	3.6
シ 農林水産業の活性化対策	2.8
キ 環境対策*	1.9
サ 雇用安定と職業能力開発*	1.0
イ 県政の広報・広聴活動	-0.3
エ 防災対策の充実	-1.3
コ 中小企業の育成*	-1.6
ア 国際的な交流や協力	-1.9
チ 震災からの復興対策	-2.1
ク 福祉対策*	-2.6
ス 交通網の整備*	-3.4
ウ 県政の合理的運営*	-3.6
カ 芸術文化の振興*	-3.8
オ 生涯学習活動への支援*	-4.3
タ 交通安全・防犯対策	-4.5
セ 良質な住宅の供給	-4.5
ソ 学校教育の充実*	-8.4

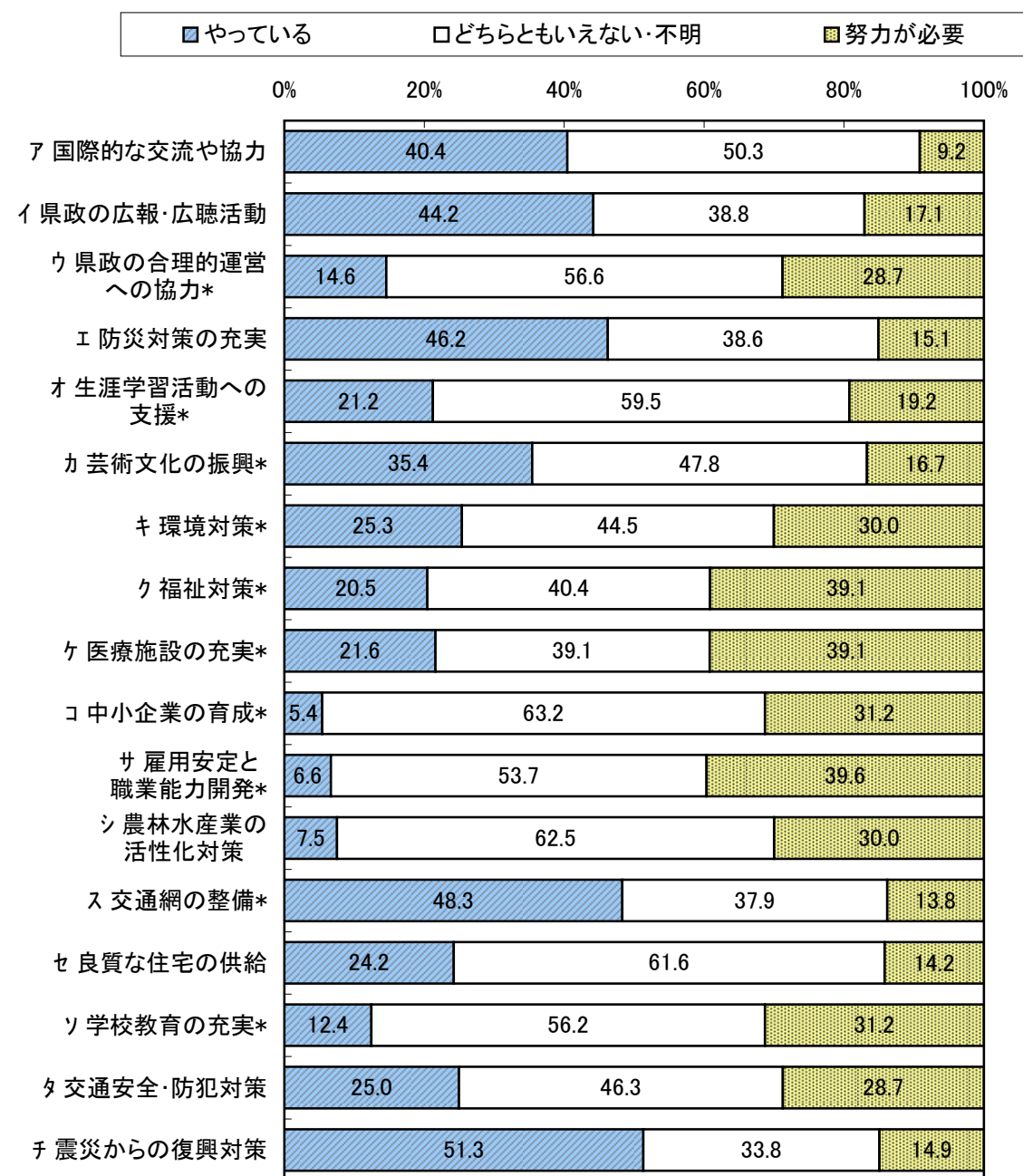
◆神戸地域

○『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(51.3%)で5割を超えて最も多く、「ス 交通網の整備」(48.3%)、「エ 防災対策の充実」(46.2%)、「イ 県政の広報・広聴活動」(44.2%)、「ア 国際的な交流や協力」が4割台で続いている。

○『努力が必要』は、「サ 雇用の安定と職業能力の開発」(39.6%)で最も多く、「ク 福祉対策」(39.1%)、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(39.1%)が僅差で続いている。

○17項目中、9項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。

◎県政への評価<<神戸地域>>



- 神戸で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「ア 国際的な交流や協力」(5.5ポイント)、「ス 交通網の整備」(4.4ポイント)、「セ 良質な住宅の供給」(3.5ポイント)など12項目である。
- 『努力が必要』が全県結果を上回っているのは、「カ 芸術文化の振興」(1.7ポイント)、「キ 環境対策」(1.7ポイント)、「チ 震災からの復興対策」(0.1ポイント)の3項目である。
- 『やっている』が前年よりも増加しているのは、「エ 防災対策の充実」(8.5ポイント)、「セ 良質な住宅の供給」(8.2ポイント)、「タ 交通安全・防犯対策」(8.1ポイント)など13項目である。
- 『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「キ 環境対策」(0.2ポイント)のみで、16項目で前年を下回っている。このうち、「ソ 学校教育の充実」(-16.0ポイント)、「タ 交通安全・防犯対策」(-11.6ポイント)、「オ 生涯学習活動への支援」(-11.1ポイント)、「セ 良質な住宅の供給」(-10.5ポイント)の4項目は、前年より10ポイント以上減少している。

◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
ア 国際的な交流や協力	5.5
ス 交通網の整備*	4.4
セ 良質な住宅の供給	3.5
エ 防災対策の充実	3.2
ケ 医療施設の充実*	2.6
イ 県政の広報・広聴活動	1.7
ク 福祉対策*	1.5
チ 震災からの復興対策	0.5
カ 芸術文化の振興*	0.4
キ 環境対策*	0.3
シ 農林水産業の活性化対策	0.3
サ 雇用安定と職業能力開発*	0.1
ウ 県政の合理的運営*	-0.4
コ 中小企業の育成*	-0.5
タ 交通安全・防犯対策	-0.8
ソ 学校教育の充実*	-1.3
オ 生涯学習活動への支援*	-2.8

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
キ 環境対策*	1.7
カ 芸術文化の振興*	1.7
チ 震災からの復興対策	0.1
ウ 県政の合理的運営*	-0.5
イ 県政の広報・広聴活動	-0.6
ア 国際的な交流や協力	-1.6
オ 生涯学習活動への支援*	-1.7
シ 農林水産業の活性化対策	-2.6
ク 福祉対策*	-3.5
エ 防災対策の充実	-3.6
コ 中小企業の育成*	-4.2
ソ 学校教育の充実*	-4.4
タ 交通安全・防犯対策	-4.7
サ 雇用安定と職業能力開発*	-5.0
ス 交通網の整備*	-5.2
セ 良質な住宅の供給	-6.5
ケ 医療施設の充実*	-7.3

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
エ 防災対策の充実	8.5
セ 良質な住宅の供給	8.2
タ 交通安全・防犯対策	8.1
チ 震災からの復興対策	6.7
カ 芸術文化の振興*	5.5
ス 交通網の整備*	5.0
オ 生涯学習活動への支援*	3.9
ソ 学校教育の充実*	3.8
ケ 医療施設の充実*	3.8
イ 県政の広報・広聴活動	3.5
ウ 県政の合理的運営*	3.3
ア 国際的な交流や協力	2.8
ク 福祉対策*	1.4
サ 雇用安定と職業能力開発*	-0.3
シ 農林水産業の活性化対策	-0.3
コ 中小企業の育成*	-0.6
キ 環境対策*	-2.0

◎県政への評価【前年結果との比較】

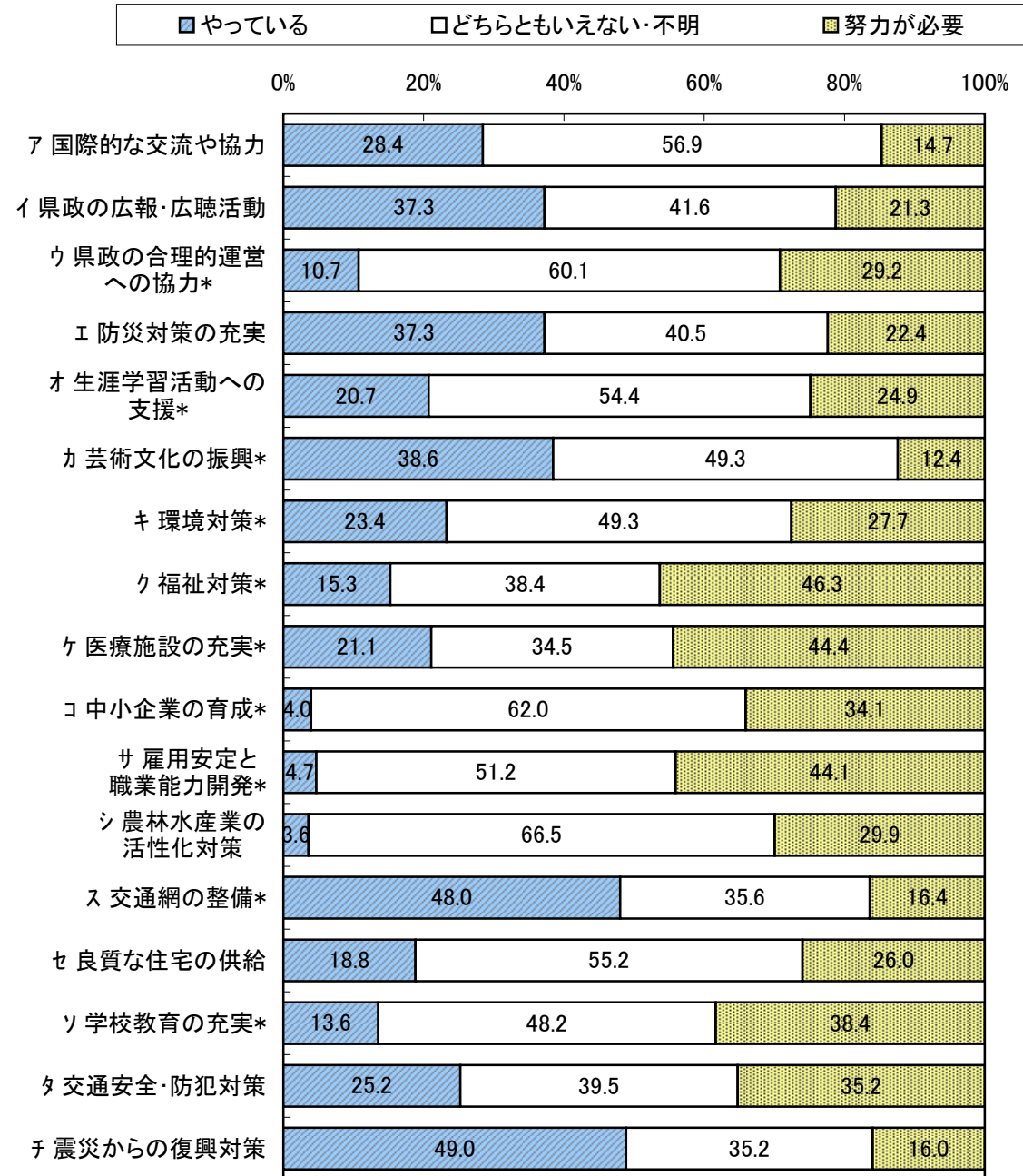
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
キ 環境対策*	0.2
ケ 医療施設の充実*	-1.1
イ 県政の広報・広聴活動	-1.6
シ 農林水産業の活性化対策	-2.0
チ 震災からの復興対策	-3.8
コ 中小企業の育成*	-5.6
ア 国際的な交流や協力	-5.6
サ 雇用安定と職業能力開発*	-5.8
カ 芸術文化の振興*	-6.2
ク 福祉対策*	-6.3
エ 防災対策の充実	-6.6
ウ 県政の合理的運営*	-8.1
ス 交通網の整備*	-9.2
セ 良質な住宅の供給	-10.5
オ 生涯学習活動への支援*	-11.1
タ 交通安全・防犯対策	-11.6
ソ 学校教育の充実*	-16.0

◆阪神南地域

- 『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(49.0%)で約5割と最も多く、「ス 交通網の整備」(48.0%)、「カ 芸術文化の振興」(38.6%)の順で続いている。
- 『努力が必要』は、「ク 福祉対策」(46.3%)、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(44.4%)、「サ 雇用の安定と職業能力の開発」(44.1%)で4割を超えている。
- 17項目中、11項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。

◎県政への評価<<阪神南地域>>



- 阪神南で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「ス 交通網の整備」(4.2ポイント)、「カ 芸術文化の振興」(3.6ポイント)、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(2.2ポイント)の3項目である。
- 『努力が必要』が全県結果を上回っているのは、「セ 良質な住宅の供給」(5.4ポイント)、「オ 生涯学習活動への支援」(4.0ポイント)、「ア 国際的な交流や協力」(4.0ポイント)など9項目である。
- 『やっている』が前年よりも増加しているのは、「ス 交通網の整備」(15.1ポイント)、「タ 交通安全・防犯対策」(8.1ポイント)、「イ 県政の広報・広聴活動」(7.7ポイント)、「カ 芸術文化の振興」(7.2ポイント)など14項目である。
- 『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「エ 防災対策の充実」(3.4ポイント)、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(3.2ポイント)、「シ 農林水産業の活性化対策」(2.6ポイント)など5項目である。

◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
ス 交通網の整備*	4.2
カ 芸術文化の振興*	3.6
ケ 医療施設の充実*	2.2
ソ 学校教育の充実*	-0.1
タ 交通安全・防犯対策	-0.5
キ 環境対策*	-1.6
チ 震災からの復興対策	-1.8
セ 良質な住宅の供給	-1.8
サ 雇用安定と職業能力開発*	-1.9
コ 中小企業の育成*	-1.9
オ 生涯学習活動への支援*	-3.2
ク 福祉対策*	-3.7
シ 農林水産業の活性化対策	-3.7
ウ 県政の合理的運営*	-4.2
イ 県政の広報・広聴活動	-5.1
エ 防災対策の充実	-5.7
ア 国際的な交流や協力	-6.5

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
セ 良質な住宅の供給	5.4
オ 生涯学習活動への支援*	4.0
ア 国際的な交流や協力	4.0
エ 防災対策の充実	3.7
ク 福祉対策*	3.7
イ 県政の広報・広聴活動	3.6
ソ 学校教育の充実*	2.8
タ 交通安全・防犯対策	1.8
チ 震災からの復興対策	1.2
ウ 県政の合理的運営*	0.0
キ 環境対策*	-0.6
サ 雇用安定と職業能力開発*	-0.6
コ 中小企業の育成*	-1.3
ケ 医療施設の充実*	-2.0
カ 芸術文化の振興*	-2.6
ス 交通網の整備*	-2.6
シ 農林水産業の活性化対策	-2.6

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
ス 交通網の整備*	15.1
タ 交通安全・防犯対策	8.1
イ 県政の広報・広聴活動	7.7
カ 芸術文化の振興*	7.2
チ 震災からの復興対策	6.8
セ 良質な住宅の供給	6.3
ソ 学校教育の充実*	6.1
オ 生涯学習活動への支援*	5.0
ケ 医療施設の充実*	4.8
エ 防災対策の充実	3.5
ク 福祉対策*	2.0
ア 国際的な交流や協力	1.6
ウ 県政の合理的運営*	1.4
キ 環境対策*	0.2
コ 中小企業の育成*	-0.1
サ 雇用安定と職業能力開発*	-0.9
シ 農林水産業の活性化対策	-2.0

◎県政への評価【前年結果との比較】

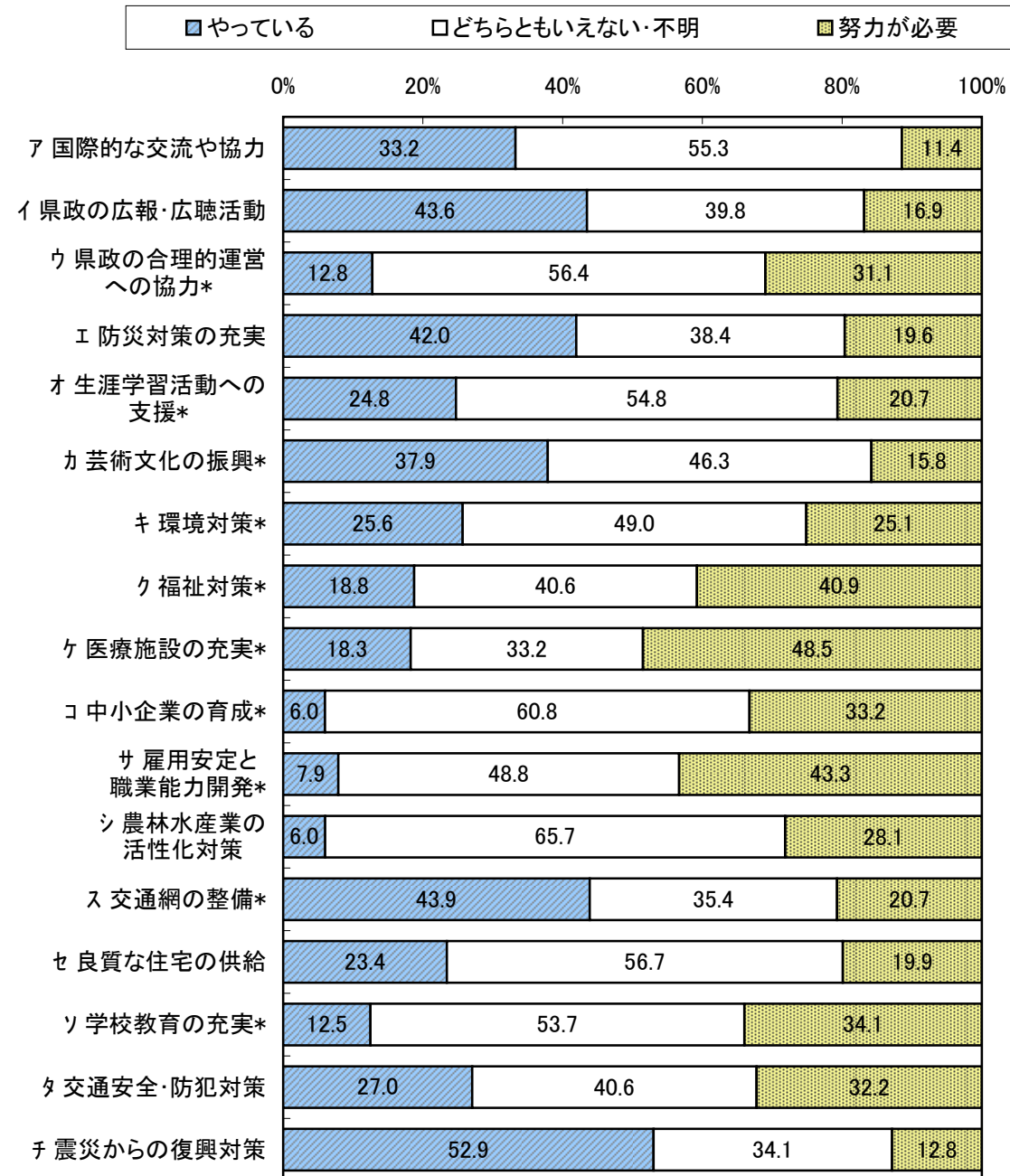
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
エ 防災対策の充実	3.4
ケ 医療施設の充実*	3.2
シ 農林水産業の活性化対策	2.6
ア 国際的な交流や協力	2.2
サ 雇用安定と職業能力開発*	2.0
イ 県政の広報・広聴活動	0.0
ク 福祉対策*	-0.5
キ 環境対策*	-0.6
コ 中小企業の育成*	-1.5
オ 生涯学習活動への支援*	-1.5
セ 良質な住宅の供給	-1.8
カ 芸術文化の振興*	-2.4
タ 交通安全・防犯対策	-3.2
ス 交通網の整備*	-3.5
チ 震災からの復興対策	-4.4
ウ 県政の合理的運営*	-5.1
ソ 学校教育の充実*	-7.4

◆阪神北地域

- 『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(52.9%)で5割を超えて最も多く、「ス 交通網の整備」(43.9%)、「イ 県政の広報・広聴活動」(43.6%)、「エ 防災対策の充実」(42.0%)が4割台で続いている。
- 『努力が必要』は、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(48.5%)、「サ 雇用の安定と職業能力の開発」(43.3%)、「ク 福祉対策」(40.9%)で4割を超えている。
- 17項目中、9項目で『やっている』が『努力が必要』を上回っている。

◎ 県政への評価<<阪神北地域>>



- 阪神北で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「カ 芸術文化の振興」(2.9ポイント)、「セ 良質な住宅の供給」(2.8ポイント)、「チ 震災からの復興対策」(2.1ポイント)など9項目である。
- 『努力が必要』が全県結果を上回っているのは、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(2.0ポイント)、「ウ 県政の合理的運営」(1.9ポイント)、「ス 交通網の整備」(1.7ポイント)など6項目である。
- 『やっている』が前年よりも増加しているのは、「イ 県政の広報・広聴活動」(9.3ポイント)、「カ 芸術文化の振興」(9.0ポイント)、「タ 交通安全・防犯対策」(8.5ポイント)など15項目である。
- 『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「シ 農林水産業の活性化対策」(3.3ポイント)、「サ 雇用安定と職業能力開発」(3.2ポイント)、「キ 環境対策」(1.7ポイント)など6項目である。一方、「ソ 学校教育の充実」は前年より11.4ポイント減少している。

◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
カ 芸術文化の振興*	2.9
セ 良質な住宅の供給	2.8
チ 震災からの復興対策	2.1
サ 雇用安定と職業能力開発*	1.3
タ 交通安全・防犯対策	1.2
イ 県政の広報・広聴活動	1.2
オ 生涯学習活動への支援*	0.8
キ 環境対策*	0.6
コ 中小企業の育成*	0.1
ス 交通網の整備*	0.0
ク 福祉対策*	-0.1
ケ 医療施設の充実*	-0.7
エ 防災対策の充実	-1.0
ソ 学校教育の充実*	-1.1
シ 農林水産業の活性化対策	-1.3
ア 国際的な交流や協力	-1.7
ウ 県政の合理的運営*	-2.1

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
ケ 医療施設の充実*	2.0
ウ 県政の合理的運営*	1.9
ス 交通網の整備*	1.7
エ 防災対策の充実	0.9
カ 芸術文化の振興*	0.8
ア 国際的な交流や協力	0.7
オ 生涯学習活動への支援*	-0.2
セ 良質な住宅の供給	-0.7
イ 県政の広報・広聴活動	-0.8
タ 交通安全・防犯対策	-1.3
サ 雇用安定と職業能力開発*	-1.3
ソ 学校教育の充実*	-1.6
ク 福祉対策*	-1.8
チ 震災からの復興対策	-2.0
コ 中小企業の育成*	-2.2
キ 環境対策*	-3.2
シ 農林水産業の活性化対策	-4.5

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
イ 県政の広報・広聴活動	9.3
カ 芸術文化の振興*	9.0
タ 交通安全・防犯対策	8.5
オ 生涯学習活動への支援*	5.9
エ 防災対策の充実	5.5
チ 震災からの復興対策	4.3
ア 国際的な交流や協力	3.5
ケ 医療施設の充実*	3.4
ソ 学校教育の充実*	2.6
セ 良質な住宅の供給	2.6
サ 雇用安定と職業能力開発*	2.0
ス 交通網の整備*	2.0
コ 中小企業の育成*	1.9
シ 農林水産業の活性化対策	1.0
ウ 県政の合理的運営*	0.1
キ 環境対策*	-1.4
ク 福祉対策*	-4.2

◎県政への評価【前年結果との比較】

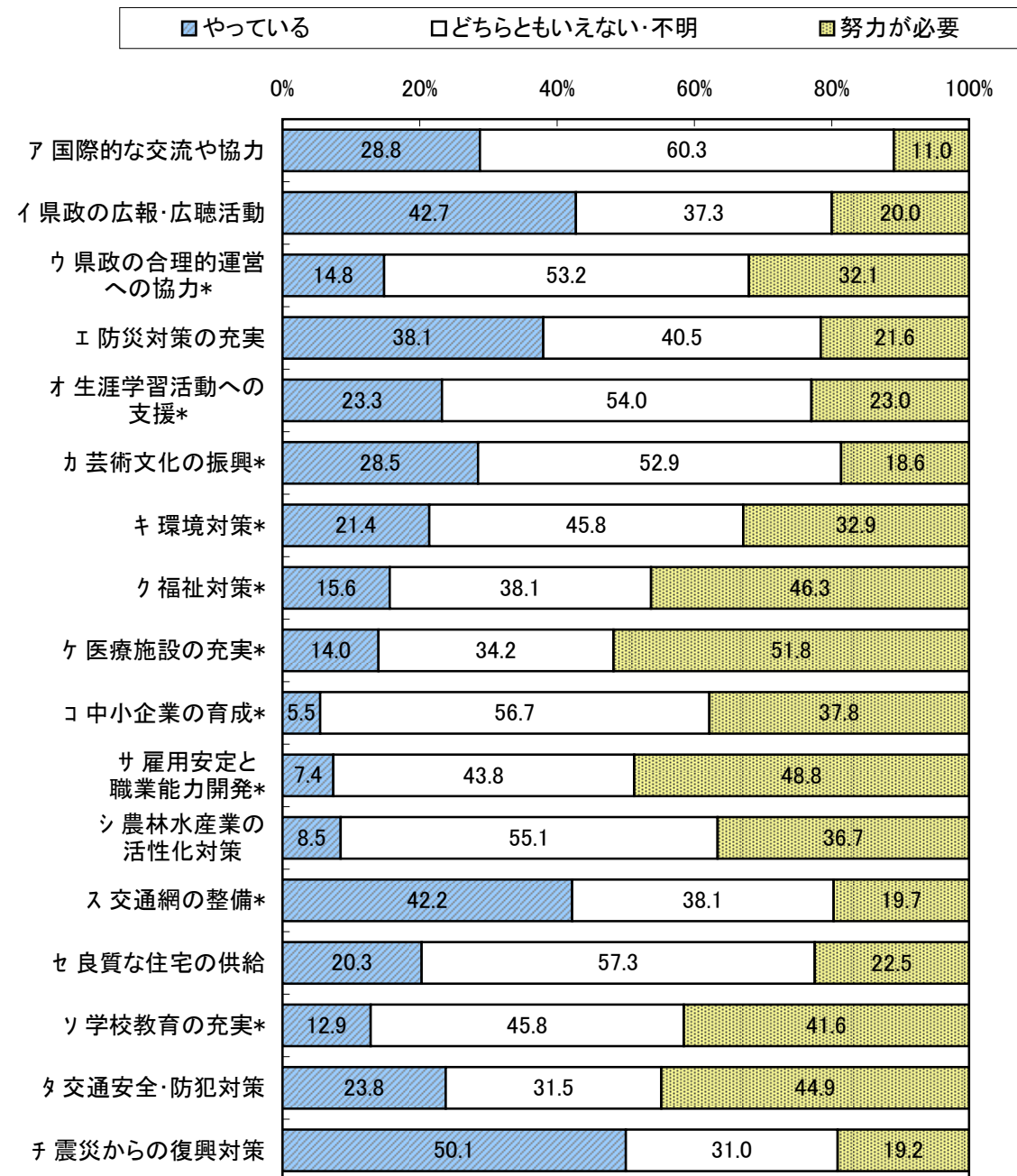
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
シ 農林水産業の活性化対策	3.3
サ 雇用安定と職業能力開発*	3.2
キ 環境対策*	1.7
ケ 医療施設の充実*	1.2
ス 交通網の整備*	0.4
ア 国際的な交流や協力	0.1
チ 震災からの復興対策	-0.7
エ 防災対策の充実	-1.2
コ 中小企業の育成*	-2.8
イ 県政の広報・広聴活動	-3.4
カ 芸術文化の振興*	-4.1
オ 生涯学習活動への支援*	-4.6
ク 福祉対策*	-4.6
ウ 県政の合理的運営*	-5.9
セ 良質な住宅の供給	-6.7
タ 交通安全・防犯対策	-9.7
ソ 学校教育の充実*	-11.4

◆東播磨地域

- 『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(50.1%)で5割を超えて最も多く、「イ 県政の広報・広聴活動」(42.7%)、「ス 交通網の整備」(42.2%)が4割台で続いている。
- 『努力が必要』は、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(51.8%)で5割を超えて最も多く、「サ 雇用の安定と職業能力の開発」(48.8%)、「ク 福祉対策」(46.3%)、「タ 交通安全・防犯対策」(44.9%)、「ソ 学校教育の充実」(41.6%)が4割台で続いている。
- 17項目中、10項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。

◎県政への評価<<東播磨地域>>



- 東播磨で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「シ 農林水産業の活性化対策」(1.2ポイント)、「サ 雇用の安定と職業能力の開発」(0.8ポイント)、「イ 県政の広報・広聴活動」(0.3ポイント)の3項目である。
- 一方、『努力が必要』は、「タ 交通安全・防犯対策」(11.5ポイント)、「ソ 学校教育の充実」(6.0ポイント)、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(5.3ポイント)をはじめ、全項目で全県結果を上回っている。
- 『やっている』が前年よりも増加しているのは、「セ 良質な住宅の供給」(6.9ポイント)、「ソ 学校教育の充実」(5.1ポイント)、「チ 震災からの復興対策」(3.4ポイント)など5項目である。
- 『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「シ 農林水産業の活性化対策」(12.4ポイント)、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(11.1ポイント)、「サ 雇用安定と職業能力開発」(11.1ポイント)、「タ 交通安全・防犯対策」(10.2ポイント)、「キ 環境対策」(10.0ポイント)の5項目で10ポイント以上上回るなど、15項目で増加している。

◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
シ 農林水産業の活性化対策	1.2
サ 雇用安定と職業能力開発*	0.8
イ 県政の広報・広聴活動	0.3
ウ 県政の合理的運営*	-0.1
セ 良質な住宅の供給	-0.4
コ 中小企業の育成*	-0.4
チ 震災からの復興対策	-0.7
オ 生涯学習活動への支援*	-0.7
ソ 学校教育の充実*	-0.8
ス 交通網の整備*	-1.7
タ 交通安全・防犯対策	-1.9
ク 福祉対策*	-3.3
キ 環境対策*	-3.6
エ 防災対策の充実	-4.9
ケ 医療施設の充実*	-5.0
ア 国際的な交流や協力	-6.1
カ 芸術文化の振興*	-6.5

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
タ 交通安全・防犯対策	11.5
ソ 学校教育の充実*	6.0
ケ 医療施設の充実*	5.3
キ 環境対策*	4.6
チ 震災からの復興対策	4.3
シ 農林水産業の活性化対策	4.2
サ 雇用安定と職業能力開発*	4.1
ク 福祉対策*	3.7
カ 芸術文化の振興*	3.6
エ 防災対策の充実	2.9
ウ 県政の合理的運営*	2.9
コ 中小企業の育成*	2.4
イ 県政の広報・広聴活動	2.3
オ 生涯学習活動への支援*	2.1
セ 良質な住宅の供給	1.8
ス 交通網の整備*	0.8
ア 国際的な交流や協力	0.2

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
セ 良質な住宅の供給	6.9
ソ 学校教育の充実*	5.1
チ 震災からの復興対策	3.4
ス 交通網の整備*	3.2
タ 交通安全・防犯対策	3.0
サ 雇用安定と職業能力開発*	0.0
エ 防災対策の充実	-0.4
シ 農林水産業の活性化対策	-0.6
イ 県政の広報・広聴活動	-1.0
ウ 県政の合理的運営*	-1.3
カ 芸術文化の振興*	-1.4
コ 中小企業の育成*	-1.4
ケ 医療施設の充実*	-1.6
ク 福祉対策*	-2.6
オ 生涯学習活動への支援*	-3.9
ア 国際的な交流や協力	-5.0
キ 環境対策*	-5.9

◎県政への評価【前年結果との比較】

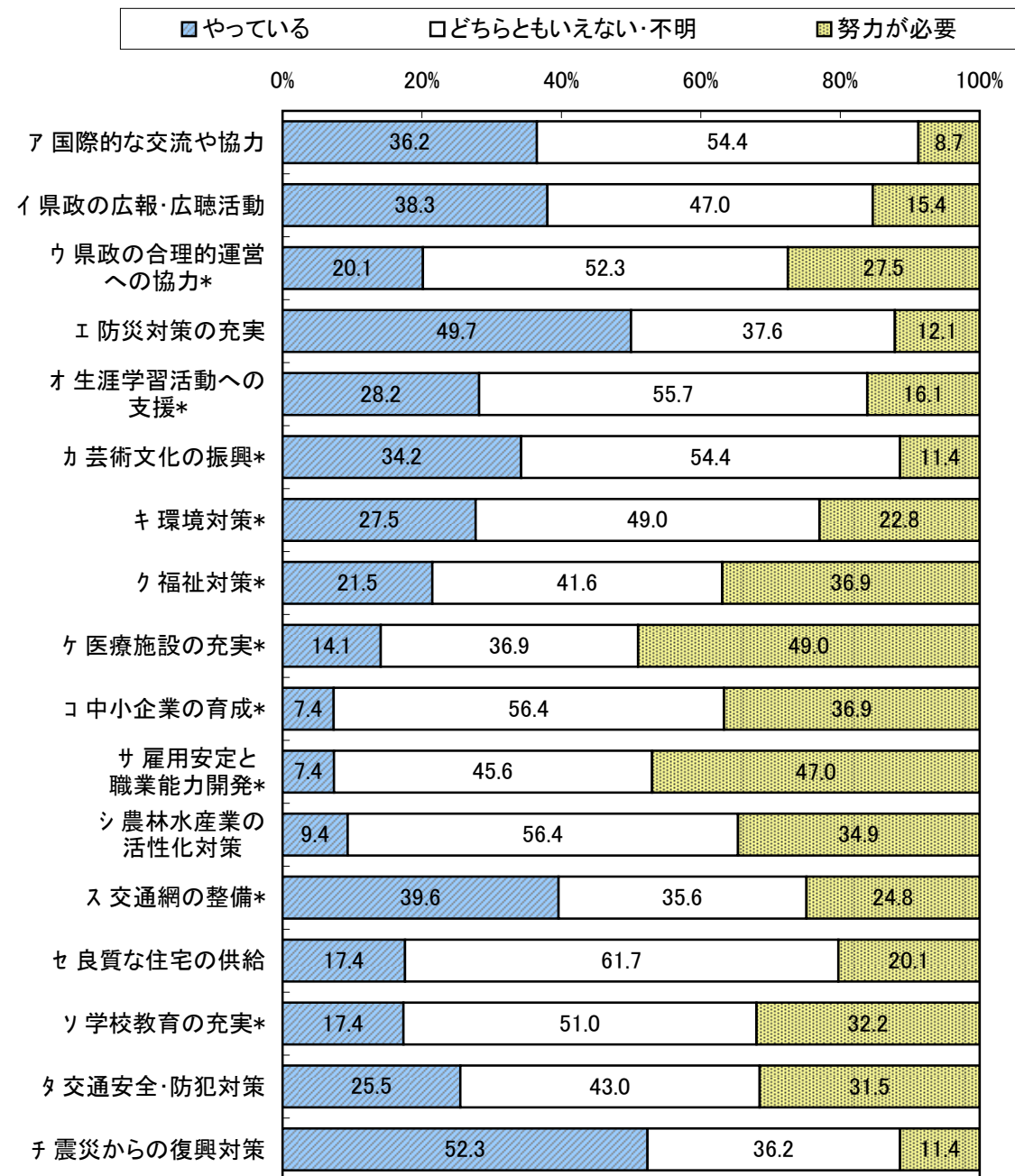
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
シ 農林水産業の活性化対策	12.4
ケ 医療施設の充実*	11.1
サ 雇用安定と職業能力開発*	11.1
タ 交通安全・防犯対策	10.2
キ 環境対策*	10.0
コ 中小企業の育成*	7.1
チ 震災からの復興対策	6.2
ウ 県政の合理的運営*	4.8
イ 県政の広報・広聴活動	3.9
オ 生涯学習活動への支援*	3.5
エ 防災対策の充実	3.4
ソ 学校教育の充実*	1.8
カ 芸術文化の振興*	1.3
ス 交通網の整備*	1.1
セ 良質な住宅の供給	0.4
ア 国際的な交流や協力	-1.6
ク 福祉対策*	-2.2

◆北播磨地域

- 『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(52.3%)で5割を超えて最も多く、「エ 防災対策の充実」(49.7%)、「ス 交通網の整備」(39.6%)、「イ 県政の広報・広聴活動」(38.3%)、「ア 国際的な交流や協力」(36.2%)の順で続いている。
- 『努力が必要』は、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(49.0%)で約5割と最も多く、「サ 雇用の安定と職業能力の開発」(47.0%)、「ク 福祉対策」「コ 中小企業の育成」(ともに36.9%)の順で続いている。
- 17項目中、9項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。

◎県政への評価<<北播磨地域>>



- 北播磨で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「エ 防災対策の充実」(6.7ポイント)、「ウ 県政の合理的運営」(5.2ポイント)、「オ 生涯学習活動への支援」(4.2ポイント)など11項目である。
- 『努力が必要』が全県結果を上回っているのは、「ス 交通網の整備」(5.9ポイント)、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(2.5ポイント)、「シ 農林水産業の活性化対策」(2.4ポイント)など5項目である。
- 『やっている』が前年よりも増加しているのは、「ソ 学校教育の充実」(9.1ポイント)、「ス交通網の整備」(8.7ポイント)、「ウ 県政の合理的運営」(8.6ポイント)など15項目である。
- 『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「キ 環境対策」(5.3ポイント)、「シ 農林水産業の活性化対策」(5.1ポイント)、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(3.8ポイント)など7項目である。

◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
エ 防災対策の充実	6.7
ウ 県政の合理的運営*	5.2
オ 生涯学習活動への支援*	4.2
ソ 学校教育の充実*	3.8
ク 福祉対策*	2.6
キ 環境対策*	2.5
シ 農林水産業の活性化対策	2.1
チ 震災からの復興対策	1.6
コ 中小企業の育成*	1.5
ア 国際的な交流や協力	1.3
サ 雇用安定と職業能力開発*	0.8
タ 交通安全・防犯対策	-0.3
カ 芸術文化の振興*	-0.8
セ 良質な住宅の供給	-3.2
イ 県政の広報・広聴活動	-4.2
ス 交通網の整備*	-4.3
ケ 医療施設の充実*	-4.8

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
ス 交通網の整備*	5.9
ケ 医療施設の充実*	2.5
シ 農林水産業の活性化対策	2.4
サ 雇用安定と職業能力開発*	2.3
コ 中小企業の育成*	1.5
セ 良質な住宅の供給	-0.5
ウ 県政の合理的運営*	-1.7
タ 交通安全・防犯対策	-1.9
ア 国際的な交流や協力	-2.0
イ 県政の広報・広聴活動	-2.3
チ 震災からの復興対策	-3.4
ソ 学校教育の充実*	-3.5
カ 芸術文化の振興*	-3.6
オ 生涯学習活動への支援*	-4.8
キ 環境対策*	-5.4
ク 福祉対策*	-5.7
エ 防災対策の充実	-6.6

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
ソ 学校教育の充実*	9.1
ス 交通網の整備*	8.7
ウ 県政の合理的運営*	8.6
タ 交通安全・防犯対策	7.2
エ 防災対策の充実	6.8
オ 生涯学習活動への支援*	5.9
チ 震災からの復興対策	5.0
イ 県政の広報・広聴活動	5.0
カ 芸術文化の振興*	4.8
ア 国際的な交流や協力	4.1
シ 農林水産業の活性化対策	3.8
セ 良質な住宅の供給	3.5
ケ 医療施設の充実*	3.0
コ 中小企業の育成*	3.0
サ 雇用安定と職業能力開発*	1.4
ク 福祉対策*	-0.4
キ 環境対策*	-2.3

◎県政への評価【前年結果との比較】

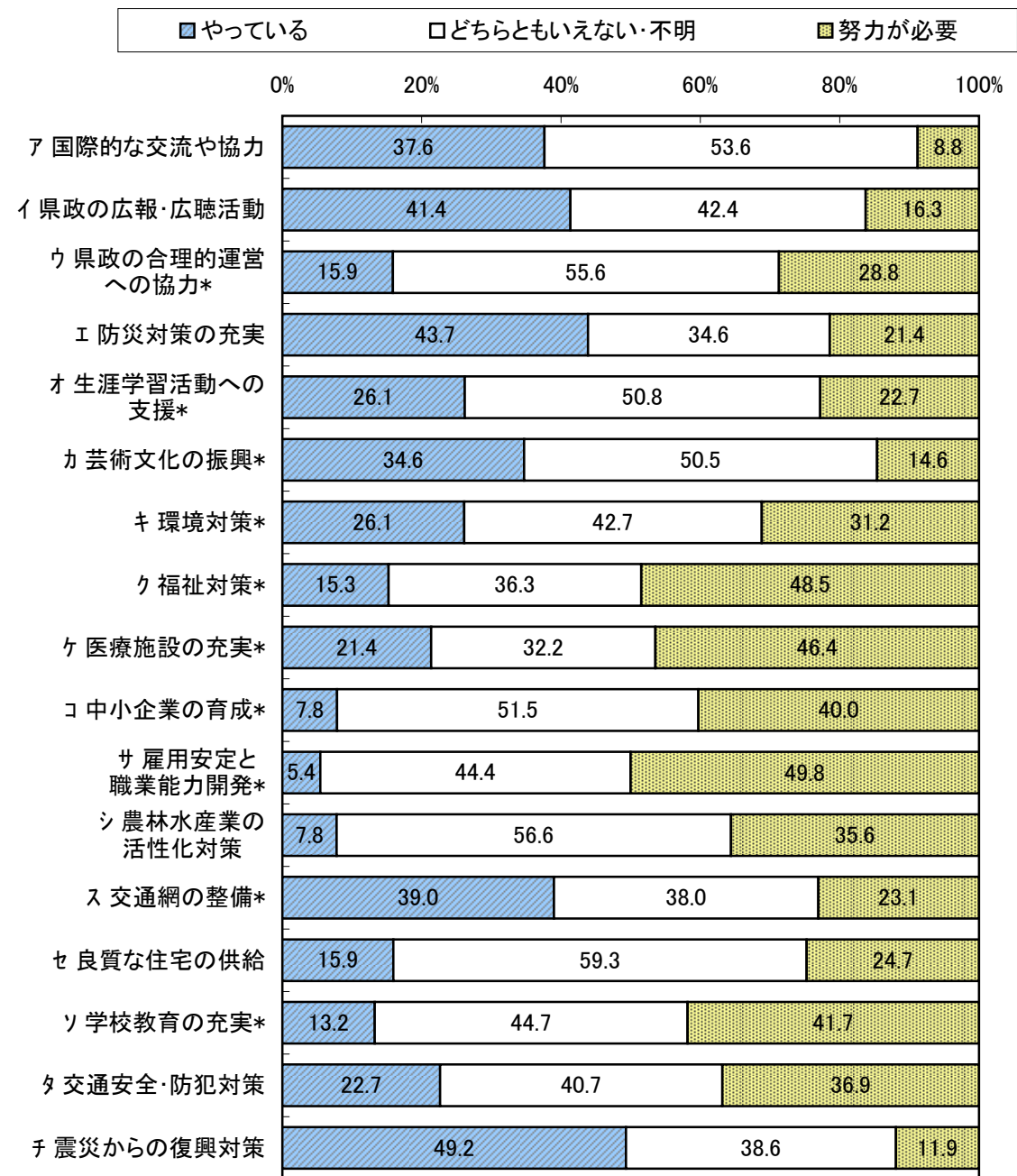
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
キ 環境対策*	5.3
シ 農林水産業の活性化対策	5.1
ケ 医療施設の充実*	3.8
サ 雇用安定と職業能力開発*	2.6
ウ 県政の合理的運営*	1.7
イ 県政の広報・広聴活動	1.5
ク 福祉対策*	0.8
ス 交通網の整備*	-0.6
ア 国際的な交流や協力	-1.3
カ 芸術文化の振興*	-2.1
セ 良質な住宅の供給	-2.5
エ 防災対策の充実	-2.9
コ 中小企業の育成*	-3.2
チ 震災からの復興対策	-3.6
オ 生涯学習活動への支援*	-3.8
タ 交通安全・防犯対策	-5.8
ソ 学校教育の充実*	-8.7

◆中播磨地域

- 『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(49.2%)で約5割と最も多く、「エ 防災対策の充実」(43.7%)、「イ 県政の広報・広聴活動」(41.4%)、「ス 交通網の整備」(39.0%)の順で続いている。
- 『努力が必要』は、「サ 雇用の安定と職業能力の開発」(49.8%)で約5割と最も多く、「ク 福祉対策」(48.5%)、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(46.4%)、「ソ 学校教育の充実」(41.7%)が4割台で続いている。
- 17項目中、10項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。

◎県政への評価<<中播磨地域>>



- 中播磨で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「ア 国際的な交流や協力」(2.7ポイント)、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(2.4ポイント)、「オ 生涯学習活動への支援」(2.1ポイント)など8項目である。
- 『努力が必要』が全県結果を上回っているのは、「ソ 学校教育の充実」(6.0ポイント)、「ク 福祉対策」(5.8ポイント)、「サ 雇用の安定と職業能力の開発」(5.2ポイント)など11項目である。
- 『やっている』が前年よりも増加しているのは、「ス 交通網の整備」(8.5ポイント)、「カ 芸術文化の振興」(7.9ポイント)、「チ 震災からの復興対策」(7.8ポイント)、「エ 防災対策の充実」(7.4ポイント)など12項目である。
- 『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(5.5ポイント)、「ク 福祉対策」(2.9ポイント)、「サ 雇用安定と職業能力開発」(2.3ポイント)など6項目である。

◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
ア 国際的な交流や協力	2.7
ケ 医療施設の充実*	2.4
オ 生涯学習活動への支援*	2.1
コ 中小企業の育成*	1.9
キ 環境対策*	1.1
ウ 県政の合理的運営*	1.0
エ 防災対策の充実	0.8
シ 農林水産業の活性化対策	0.5
カ 芸術文化の振興*	-0.4
ソ 学校教育の充実*	-0.5
イ 県政の広報・広聴活動	-1.1
サ 雇用安定と職業能力開発*	-1.2
チ 震災からの復興対策	-1.6
タ 交通安全・防犯対策	-3.0
ク 福祉対策*	-3.7
セ 良質な住宅の供給	-4.7
ス 交通網の整備*	-4.9

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
ソ 学校教育の充実*	6.0
ク 福祉対策*	5.8
サ 雇用安定と職業能力開発*	5.2
コ 中小企業の育成*	4.6
セ 良質な住宅の供給	4.1
ス 交通網の整備*	4.1
タ 交通安全・防犯対策	3.5
シ 農林水産業の活性化対策	3.0
キ 環境対策*	2.9
エ 防災対策の充実	2.7
オ 生涯学習活動への支援*	1.8
ケ 医療施設の充実*	0.0
ウ 県政の合理的運営*	-0.4
カ 芸術文化の振興*	-0.4
イ 県政の広報・広聴活動	-1.4
ア 国際的な交流や協力	-1.9
チ 震災からの復興対策	-3.0

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
ス 交通網の整備*	8.5
カ 芸術文化の振興*	7.9
チ 震災からの復興対策	7.8
エ 防災対策の充実	7.4
タ 交通安全・防犯対策	3.8
ウ 県政の合理的運営*	3.5
ケ 医療施設の充実*	3.3
ソ 学校教育の充実*	3.2
オ 生涯学習活動への支援*	2.6
セ 良質な住宅の供給	2.0
キ 環境対策*	1.8
ア 国際的な交流や協力	0.2
イ 県政の広報・広聴活動	-0.2
シ 農林水産業の活性化対策	-0.7
コ 中小企業の育成*	-1.0
サ 雇用安定と職業能力開発*	-2.0
ク 福祉対策*	-2.9

◎県政への評価【前年結果との比較】

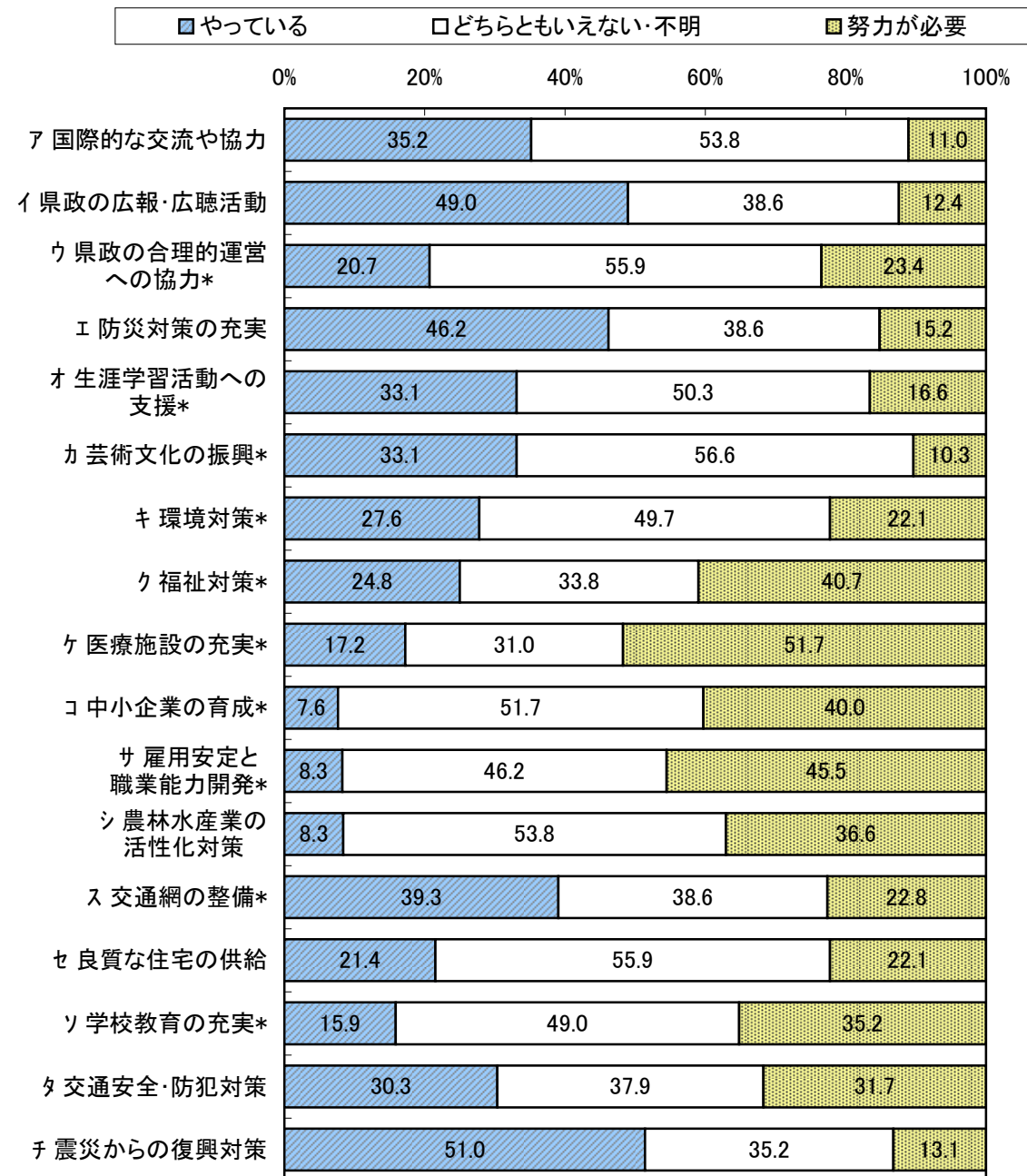
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
ケ 医療施設の充実*	5.5
ク 福祉対策*	2.9
サ 雇用安定と職業能力開発*	2.3
シ 農林水産業の活性化対策	1.7
エ 防災対策の充実	0.6
キ 環境対策*	0.3
イ 県政の広報・広聴活動	-1.8
ソ 学校教育の充実*	-2.0
タ 交通安全・防犯対策	-2.1
ウ 県政の合理的運営*	-2.1
コ 中小企業の育成*	-2.4
ス 交通網の整備*	-3.2
オ 生涯学習活動への支援*	-3.9
セ 良質な住宅の供給	-4.2
ア 国際的な交流や協力	-4.7
カ 芸術文化の振興*	-7.0
チ 震災からの復興対策	-8.1

◆西播磨地域

- 『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(51.0%)で5割を超えて最も多く、「イ 県政の広報・広聴活動」(49.0%)、「エ 防災対策の充実」(46.2%)、「ス 交通網の整備」(39.3%)の順で続いている。
- 『努力が必要』は、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(51.7%)で5割を超えて最も多く、「サ 雇用の安定と職業能力の開発」(45.5%)、「ク 福祉対策」(40.7%)、「コ 中小企業の育成」(40.0%)が4割台で続いている。
- 17項目中、9項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。

◎県政への評価<<西播磨地域>>



- 西播磨で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「オ 生涯学習活動への支援」(9.1ポイント)、「イ 県政の広報・広聴活動」(6.5ポイント)、「ク 福祉対策」(5.9ポイント)など14項目である。
- 『努力が必要』が全県結果を上回っているのは、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(5.3ポイント)、「コ 中小企業の育成」(4.6ポイント)、「シ 農林水産業の活性化対策」(4.0ポイント)など7項目である。
- 『やっている』が前年よりも増加しているのは、「イ 県政の広報・広聴活動」(8.1ポイント)、「ア 国際的な交流や協力」(5.7ポイント)、「ス 交通網の整備」(5.2ポイント)など12項目である。
- 『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(13.4ポイント)、「シ 農林水産業の活性化対策」(10.8ポイント)の2項目で10ポイント以上上回るなど、12項目で増加している。

◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
オ 生涯学習活動への支援*	9.1
イ 県政の広報・広聴活動	6.5
ク 福祉対策*	5.9
ウ 県政の合理的運営*	5.8
タ 交通安全・防犯対策	4.6
エ 防災対策の充実	3.2
キ 環境対策*	2.6
ソ 学校教育の充実*	2.2
コ 中小企業の育成*	1.7
サ 雇用安定と職業能力開発*	1.7
シ 農林水産業の活性化対策	1.0
セ 良質な住宅の供給	0.7
ア 国際的な交流や協力	0.3
チ 震災からの復興対策	0.2
ケ 医療施設の充実*	-1.7
カ 芸術文化の振興*	-1.9
ス 交通網の整備*	-4.6

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
ケ 医療施設の充実*	5.3
コ 中小企業の育成*	4.6
シ 農林水産業の活性化対策	4.0
ス 交通網の整備*	3.8
セ 良質な住宅の供給	1.4
サ 雇用安定と職業能力開発*	0.8
ア 国際的な交流や協力	0.3
ソ 学校教育の充実*	-0.5
タ 交通安全・防犯対策	-1.7
チ 震災からの復興対策	-1.8
ク 福祉対策*	-1.9
エ 防災対策の充実	-3.5
オ 生涯学習活動への支援*	-4.3
カ 芸術文化の振興*	-4.6
イ 県政の広報・広聴活動	-5.3
ウ 県政の合理的運営*	-5.7
キ 環境対策*	-6.2

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
イ 県政の広報・広聴活動	8.1
ア 国際的な交流や協力	5.7
ス 交通網の整備*	5.2
タ 交通安全・防犯対策	4.9
カ 芸術文化の振興*	4.7
オ 生涯学習活動への支援*	4.7
ウ 県政の合理的運営*	4.4
エ 防災対策の充実	3.8
セ 良質な住宅の供給	3.6
ソ 学校教育の充実*	3.0
ク 福祉対策*	2.0
チ 震災からの復興対策	1.0
コ 中小企業の育成*	-1.5
サ 雇用安定と職業能力開発*	-2.0
シ 農林水産業の活性化対策	-3.1
ケ 医療施設の充実*	-4.0
キ 環境対策*	-5.0

◎県政への評価【前年結果との比較】

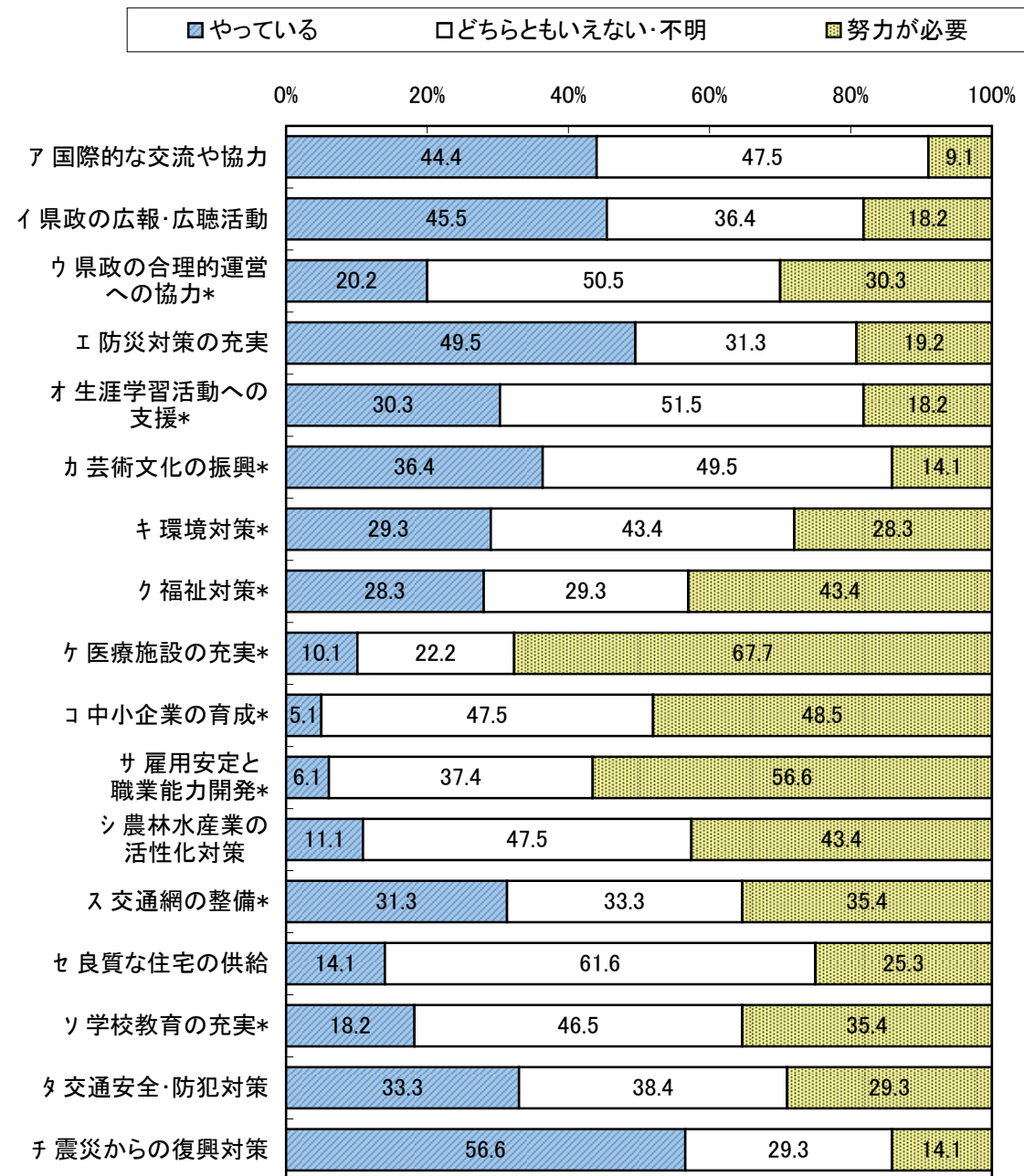
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
ケ 医療施設の充実*	13.4
シ 農林水産業の活性化対策	10.8
コ 中小企業の育成*	7.4
サ 雇用安定と職業能力開発*	4.6
セ 良質な住宅の供給	3.6
キ 環境対策*	2.4
ク 福祉対策*	1.3
ウ 県政の合理的運営*	0.7
ア 国際的な交流や協力	0.7
オ 生涯学習活動への支援*	0.3
タ 交通安全・防犯対策	0.2
ス 交通網の整備*	0.1
イ 県政の広報・広聴活動	-0.9
チ 震災からの復興対策	-3.2
カ 芸術文化の振興*	-3.7
エ 防災対策の充実	-3.7
ソ 学校教育の充実*	-4.2

◆但馬地域

- 『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(56.6%)で5割を超えて最も多く、「エ 防災対策の充実」(49.5%)、「イ 県政の広報・広聴活動」(45.5%)、「ア 国際的な交流や協力」(44.4%)が4割台で続いている。
- 『努力が必要』は、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(67.7%)で7割近くと最も多く、「サ 雇用の安定と職業能力の開発」(56.6%)、「コ 中小企業の育成」(48.5%)、「ク 福祉対策」「シ 農林水産業の活性化対策」(ともに43.4%)の順で続いている。
- 17項目中、9項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。

◎県政への評価<<但馬地域>>



- 但馬で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「ア 国際的な交流や協力」(9.5ポイント)、「ク 福祉対策」(9.4ポイント)、「タ 交通安全・防犯対策」(7.6ポイント)など12項目となっている。一方、「ス 交通網の整備」では全県結果を12.6ポイント下回っている。
- 『努力が必要』は、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」で全県結果を21.2ポイント上回っているのをはじめ、「ス 交通網の整備」(16.4ポイント)、「コ 中小企業の育成」(13.1ポイント)、「サ 雇用の安定と職業能力の開発」(11.9ポイント)、「シ 農林水産業の活性化対策」(10.9ポイント)の4項目で10ポイント以上上回るなど、10項目で全県結果を上回っている。
- 『やっている』が前年よりも増加しているのは、「ア 国際的な交流や協力」(11.4ポイント)、「タ 交通安全・防犯対策」(9.3ポイント)、「ソ 学校教育の充実」(8.9ポイント)など12項目である。
- 『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(4.6ポイント)、「イ 県政の広報・広聴活動」(4.2ポイント)、「シ 農林水産業の活性化対策」(4.0ポイント)など7項目である。

◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
ア 国際的な交流や協力	9.5
ク 福祉対策*	9.4
タ 交通安全・防犯対策	7.6
エ 防災対策の充実	6.5
オ 生涯学習活動への支援*	6.3
チ 震災からの復興対策	5.8
ウ 県政の合理的運営*	5.3
ソ 学校教育の充実*	4.5
キ 環境対策*	4.3
シ 農林水産業の活性化対策	3.8
イ 県政の広報・広聴活動	3.0
カ 芸術文化の振興*	1.4
サ 雇用安定と職業能力開発*	-0.5
コ 中小企業の育成*	-0.8
セ 良質な住宅の供給	-6.5
ケ 医療施設の充実*	-8.8
ス 交通網の整備*	-12.6

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
ケ 医療施設の充実*	21.2
ス 交通網の整備*	16.4
コ 中小企業の育成*	13.1
サ 雇用安定と職業能力開発*	11.9
シ 農林水産業の活性化対策	10.9
セ 良質な住宅の供給	4.6
ウ 県政の合理的運営*	1.1
ク 福祉対策*	0.8
エ 防災対策の充実	0.5
イ 県政の広報・広聴活動	0.5
キ 環境対策*	0.0
ソ 学校教育の充実*	-0.3
チ 震災からの復興対策	-0.7
カ 芸術文化の振興*	-0.9
ア 国際的な交流や協力	-1.6
オ 生涯学習活動への支援*	-2.7
タ 交通安全・防犯対策	-4.2

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
ア 国際的な交流や協力	11.4
タ 交通安全・防犯対策	9.3
ソ 学校教育の充実*	8.9
カ 芸術文化の振興*	8.4
ウ 県政の合理的運営*	6.2
ク 福祉対策*	4.7
シ 農林水産業の活性化対策	4.6
チ 震災からの復興対策	4.6
セ 良質な住宅の供給	4.4
イ 県政の広報・広聴活動	3.9
サ 雇用安定と職業能力開発*	2.2
コ 中小企業の育成*	1.5
エ 防災対策の充実	1.4
オ 生涯学習活動への支援*	-0.2
ケ 医療施設の充実*	-0.7
ス 交通網の整備*	-1.3
キ 環境対策*	-4.4

◎県政への評価【前年結果との比較】

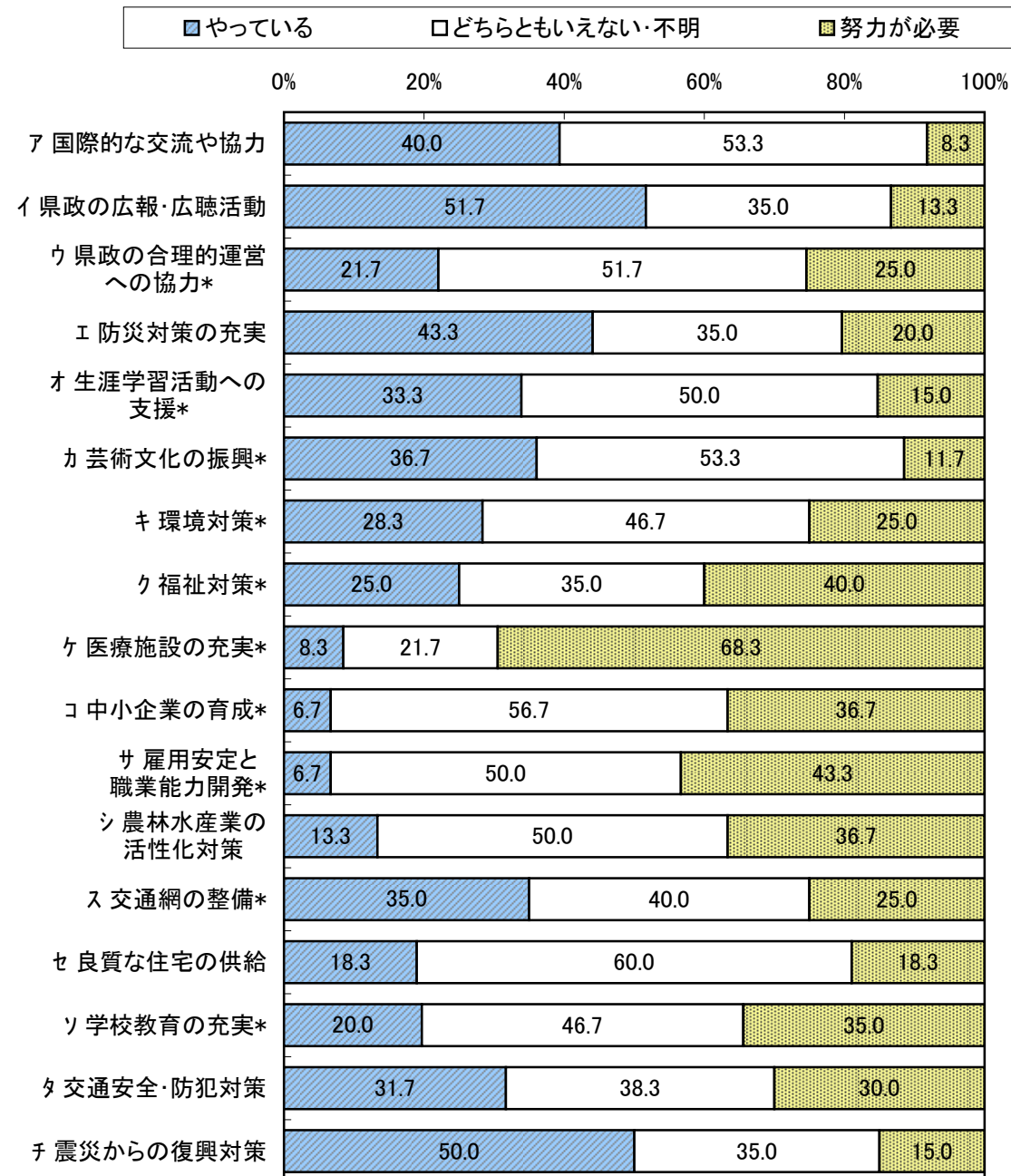
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
ケ 医療施設の充実*	4.6
イ 県政の広報・広聴活動	4.2
シ 農林水産業の活性化対策	4.0
キ 環境対策*	3.2
ス 交通網の整備*	2.8
チ 震災からの復興対策	2.6
ウ 県政の合理的運営*	1.2
エ 防災対策の充実	-0.1
サ 雇用安定と職業能力開発*	-1.1
オ 生涯学習活動への支援*	-1.5
ク 福祉対策*	-1.8
コ 中小企業の育成*	-2.4
ア 国際的な交流や協力	-3.1
セ 良質な住宅の供給	-3.1
タ 交通安全・防犯対策	-3.7
カ 芸術文化の振興*	-3.9
ソ 学校教育の充実*	-9.7

◆丹波地域

- 『やっている』は、「イ 県政の広報・広聴活動」(51.7%)が5割を超えて最も多く、「チ 震災からの復興対策」(50.0%)、「エ 防災対策の充実」(43.3%)、「ア 国際的な交流や協力」(40.0%)の順で続いている。
- 『努力が必要』は、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(68.3%)が7割近くと最も多く、「サ 雇用の安定と職業能力の開発」(43.3%)、「ク 福祉対策」(40.0%)が4割台で続いている。
- 17項目中、9項目で『やっている』が『努力が必要』を上回っている。

◎県政への評価<<丹波地域>>



- 丹波で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「オ 生涯学習活動への支援」(9.4ポイント)、「イ 県政の広報・広聴活動」(9.2ポイント)、「ウ 県政の合理的運営」(6.7ポイント)など13項目である。一方、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」では全県結果を10.6ポイント下回っている。
- 『努力が必要』は、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」で全県結果を21.9ポイント上回っており、「ス 交通網の整備」(6.0ポイント)、「シ 農林水産業の活性化」(4.1ポイント)など6項目で全県結果を上回っている。
- 『やっている』が前年よりも増加しているのは、「タ 交通安全・防犯対策」(7.8ポイント)、「シ 農林水産業の活性化対策」(7.5ポイント)、「ソ 学校教育の充実」(7.1ポイント)など15項目である。
- 『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(3.4ポイント)、「チ 震災からの復興対策」(2.1ポイント)、「タ 交通安全・防犯対策」(1.7ポイント)など5項目である。

◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
オ 生涯学習活動への支援*	9.4
イ 県政の広報・広聴活動	9.2
ウ 県政の合理的運営*	6.7
ソ 学校教育の充実*	6.3
ク 福祉対策*	6.1
シ 農林水産業の活性化対策	6.1
タ 交通安全・防犯対策	5.9
ア 国際的な交流や協力	5.1
キ 環境対策*	3.3
カ 芸術文化の振興*	1.7
コ 中小企業の育成*	0.8
エ 防災対策の充実	0.4
サ 雇用安定と職業能力開発*	0.1
チ 震災からの復興対策	-0.8
セ 良質な住宅の供給	-2.3
ス 交通網の整備*	-8.9
ケ 医療施設の充実*	-10.6

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
ケ 医療施設の充実*	21.9
ス 交通網の整備*	6.0
シ 農林水産業の活性化対策	4.1
エ 防災対策の充実	1.3
コ 中小企業の育成*	1.2
チ 震災からの復興対策	0.1
ソ 学校教育の充実*	-0.7
サ 雇用安定と職業能力開発*	-1.3
セ 良質な住宅の供給	-2.3
ア 国際的な交流や協力	-2.4
ク 福祉対策*	-2.6
キ 環境対策*	-3.3
カ 芸術文化の振興*	-3.3
タ 交通安全・防犯対策	-3.4
ウ 県政の合理的運営*	-4.2
イ 県政の広報・広聴活動	-4.4
オ 生涯学習活動への支援*	-5.9

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
タ 交通安全・防犯対策	7.8
シ 農林水産業の活性化対策	7.5
ソ 学校教育の充実*	7.1
ク 福祉対策*	5.9
オ 生涯学習活動への支援*	5.6
イ 県政の広報・広聴活動	5.6
ウ 県政の合理的運営*	4.3
ア 国際的な交流や協力	3.5
ケ 医療施設の充実*	2.9
コ 中小企業の育成*	2.9
エ 防災対策の充実	2.7
サ 雇用安定と職業能力開発*	2.3
チ 震災からの復興対策	1.5
ス 交通網の整備*	1.2
カ 芸術文化の振興*	0.2
セ 良質な住宅の供給	-0.1
キ 環境対策*	-3.5

◎県政への評価【前年結果との比較】

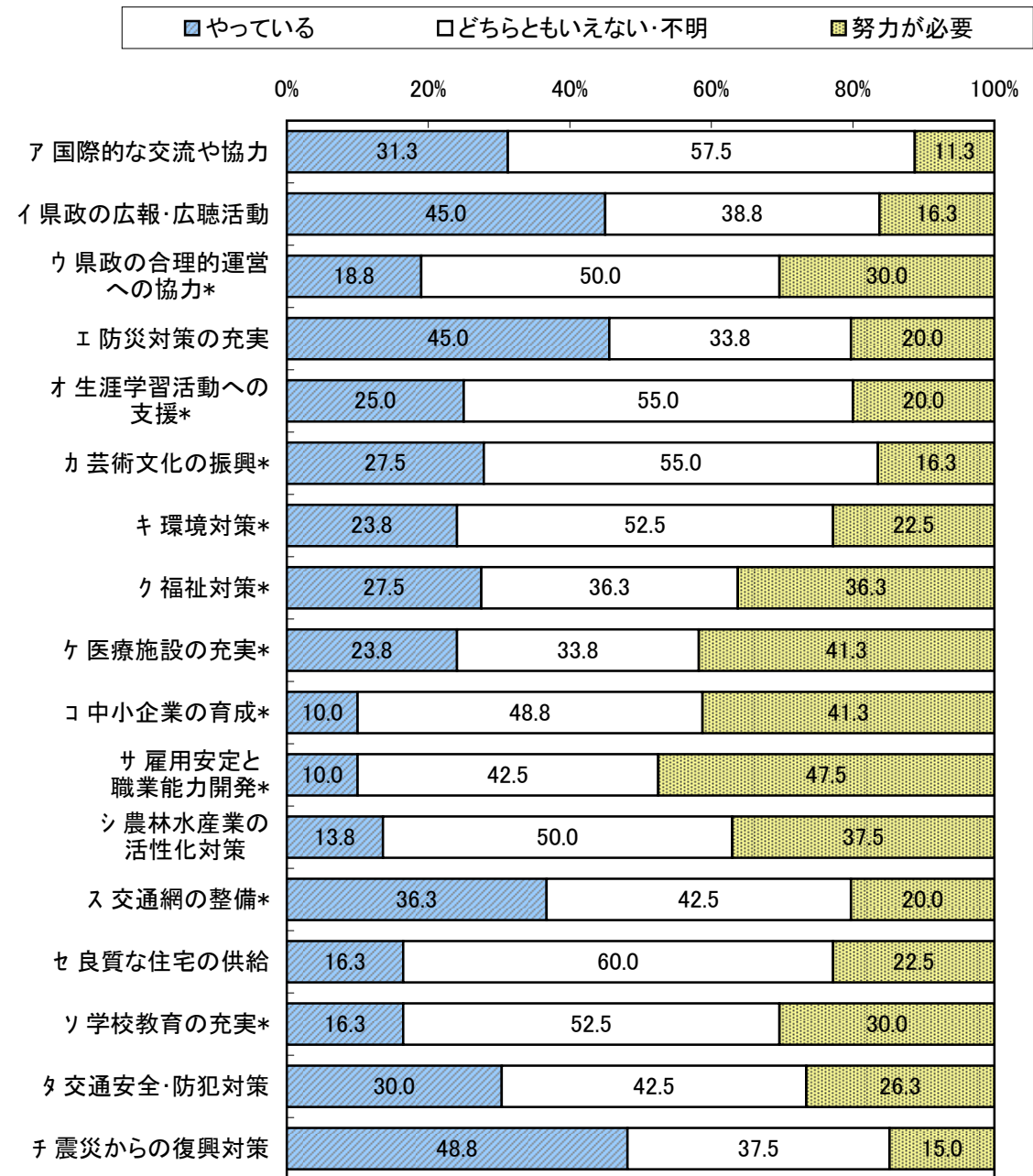
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
ケ 医療施設の充実*	3.4
チ 震災からの復興対策	2.1
タ 交通安全・防犯対策	1.7
キ 環境対策*	1.1
イ 県政の広報・広聴活動	1.0
シ 農林水産業の活性化対策	-1.6
エ 防災対策の充実	-1.9
コ 中小企業の育成*	-2.2
セ 良質な住宅の供給	-2.5
ス 交通網の整備*	-2.6
ア 国際的な交流や協力	-2.9
ソ 学校教育の充実*	-3.6
ク 福祉対策*	-4.0
カ 芸術文化の振興*	-4.7
サ 雇用安定と職業能力開発*	-5.2
オ 生涯学習活動への支援*	-7.6
ウ 県政の合理的運営*	-9.5

◆淡路地域

- 『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(48.8%)で最も多く、「イ 県政の広報・広聴活動」(45.0%)、「エ 防災対策の充実」(45.0%)が4割台で続いている。
- 『努力が必要』は、「サ 雇用の安定と職業能力の開発」(47.5%)で最も多く、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」「中小企業の育成」(ともに41.3%)が4割台で続いている。
- 17項目中、9項目で『やっている』が『努力が必要』を上回っている。

◎県政への評価<<淡路地域>>



- 淡路で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「ク 福祉対策」(8.6ポイント)、「シ 農林水産業の活性化」(6.5ポイント)、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(4.8ポイント)など11項目である。
- 『努力が必要』が全県結果を上回っているのは、「コ 中小企業の育成」(5.8%)、「シ 農林水産業の活性化対策」(5.0ポイント)、「サ 雇用安定と職業能力開発」(2.8ポイント)など10項目である。
- 『やっている』が前年よりも増加しているのは、「イ 県政の広報・広聴活動」(8.0ポイント)、「タ 交通安全・防犯対策」(5.2ポイント)、「ウ 県政の合理的運営」「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(ともに5.1ポイント)など14項目である。
- 『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「ア 国際的な交流や協力」(4.5ポイント)、「イ 県政の広報・広聴活動」(2.5ポイント)、「ケ 病気の予防や医療施設の充実」(2.0ポイント)など4項目である。

◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
ク 福祉対策*	8.6
シ 農林水産業の活性化対策	6.5
ケ 医療施設の充実*	4.8
タ 交通安全・防犯対策	4.2
コ 中小企業の育成*	4.1
ウ 県政の合理的運営*	3.8
サ 雇用安定と職業能力開発*	3.4
イ 県政の広報・広聴活動	2.6
ソ 学校教育の充実*	2.6
エ 防災対策の充実	2.0
オ 生涯学習活動への支援*	1.0
キ 環境対策*	-1.3
チ 震災からの復興対策	-2.0
ア 国際的な交流や協力	-3.7
セ 良質な住宅の供給	-4.4
カ 芸術文化の振興*	-7.5
ス 交通網の整備*	-7.6

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
コ 中小企業の育成*	5.8
シ 農林水産業の活性化対策	5.0
サ 雇用安定と職業能力開発*	2.8
セ 良質な住宅の供給	1.9
エ 防災対策の充実	1.3
カ 芸術文化の振興*	1.3
ス 交通網の整備*	1.0
ウ 県政の合理的運営*	0.8
ア 国際的な交流や協力	0.5
チ 震災からの復興対策	0.1
オ 生涯学習活動への支援*	-0.9
イ 県政の広報・広聴活動	-1.4
ケ 医療施設の充実*	-5.2
ソ 学校教育の充実*	-5.7
キ 環境対策*	-5.8
ク 福祉対策*	-6.4
タ 交通安全・防犯対策	-7.2

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
イ 県政の広報・広聴活動	8.0
タ 交通安全・防犯対策	5.2
ウ 県政の合理的運営*	5.1
ケ 医療施設の充実*	5.1
チ 震災からの復興対策	4.9
オ 生涯学習活動への支援*	4.8
サ 雇用安定と職業能力開発*	4.7
ス 交通網の整備*	4.6
コ 中小企業の育成*	4.3
シ 農林水産業の活性化対策	4.2
ク 福祉対策*	3.5
ソ 学校教育の充実*	2.9
エ 防災対策の充実	1.9
セ 良質な住宅の供給	0.6
カ 芸術文化の振興*	-1.9
キ 環境対策*	-2.3
ア 国際的な交流や協力	-3.9

◎県政への評価【前年結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
ア 国際的な交流や協力	4.5
イ 県政の広報・広聴活動	2.5
ケ 医療施設の充実*	2.0
カ 芸術文化の振興*	0.6
ウ 県政の合理的運営*	-0.5
セ 良質な住宅の供給	-0.7
コ 中小企業の育成*	-1.1
シ 農林水産業の活性化対策	-1.5
チ 震災からの復興対策	-1.8
タ 交通安全・防犯対策	-2.0
エ 防災対策の充実	-3.3
サ 雇用安定と職業能力開発*	-3.3
キ 環境対策*	-3.4
オ 生涯学習活動への支援*	-3.7
ス 交通網の整備*	-4.0
ク 福祉対策*	-5.0
ソ 学校教育の充実*	-6.2